

岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

2018

大学概要



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



岡山大学概要2018

目 次

歴代学長	2
学年暦	2
理念・目的・目標	3
沿革	4
組織図	6
役職員	8
教育研究組織等	11
大学院	11
学部	12
専攻科・別科	12
研究所	13
岡山大学病院	13
全学センター	14
附属学校	15
附属図書館	15
共同利用・共同研究拠点	15
教育関係共同利用拠点	15
機構	16
教育研究プログラム戦略本部	16
ダイバーシティ推進本部	17
海外拠点	17
統計	18
役職員数	18
学生数	20
児童・生徒及び園児数	23
入学者数	23
卒業者進路（修了者就職状況）	25
奨学生数	27
学位授与者数	28
岡山大学病院病床数及び患者数	28
国際交流	29
協定大学等分布	29
協定一覧	29
海外留学生数の推移	31
外国人留学生数の推移	31
教員の海外渡航者数及び 外国人研究者受入状況	33
財政	34
土地・建物	36
諸施設	38
社会連携	40
関連組織	41
アクセス	42
キャンパスマップ	44

歴代学長



第14代学長
医学博士
榎野博史

林	道 倫	昭和 24.5.31	～昭和 24.6.28※
林	道 倫	昭和 24.6.29	～昭和 27.7.25
清 水	多 榮	昭和 27.7.26	～昭和 33.1.30
藤 原	秀 勝	昭和 33.1.31	～昭和 33.5.31※
八 木	日出雄	昭和 33.6. 1	～昭和 37.5.31
服 部	静 夫	昭和 37.6. 1	～昭和 39.4.30
赤 木	五 郎	昭和 39.5. 1	～昭和 44.5. 9
谷 口	澄 夫	昭和 44.5. 9	～昭和 44.6.13※
谷 口	澄 夫	昭和 44.6.14	～昭和 50.6.13
小 坂	淳 夫	昭和 50.6.14	～昭和 56.6.13
大 藤	眞	昭和 56.6.14	～昭和 62.6.13
高 橋	克 明	昭和 62.6.14	～平成 5.6.13
小 坂	二度見	平成 5.6.14	～平成 11.6.13
河 野	伊一郎	平成 11.6.14	～平成 17.6.13
千 葉	喬 三	平成 17.6.14	～平成 23.3.31
森 田	潔	平成 23.4. 1	～平成 29.3.31
榎 野	博 史	平成 29.4. 1	～

注：※印は、学長事務取扱を表す。

学年暦

4月1日	学年始め、第1学期開始、 前期開始（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）
4月2日	入学式
6月10日	第1学期終了
6月11日	第2学期開始
8月10日	第2学期終了
8月11日	夏季休業（～9月30日）
9月27日	学位記等授与式
9月30日	前期終了（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）
10月1日	第3学期開始、 後期開始（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）
10月6日	秋季入学式
10月22日	開学記念日
12月2日	第3学期終了
12月3日	第4学期開始
12月25日	冬季休業（～1月4日）
2月14日	第4学期終了
2月15日	春季休業（～3月31日）
3月25日	学位記等授与式
3月31日	後期終了（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）、学年終了

1 理念

“高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかなばなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成（研究）と的確な知の継承（教育と社会還元）を通じて人類社会の発展に貢献します。

2 目的

“人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3 目標

(1) 教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

(2) 研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。

常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

(3) 社会貢献の基本的目標

社会が抱える課題を解決するため、総合大学の利点を活かし、大学の知や技術の成果を社会に還元すると同時に、積極的に社会との双方向的な連携を目指します。

(4) 経営の基本的目標

研究、教育の目標を効果的に達成するため、大学に賦存する人材、財政、施設設備などの資源をトップマネジメントにより戦略的に利活用します。

(5) 自己点検評価の基本的目標

公的機関として社会への説明責任を果たすため、研究、教育、社会貢献、管理運営のすべての分野において不断の自己点検評価を実施し公表するとともに、その結果を的確に大学改革に反映します。

沿

革

組

織

図

役

職

員

教

育

研

究

組

統

計

国

際

交

流

財

政

土

地

建

物

諸

施

設

ア

ク

セ

ス

キ

ャ

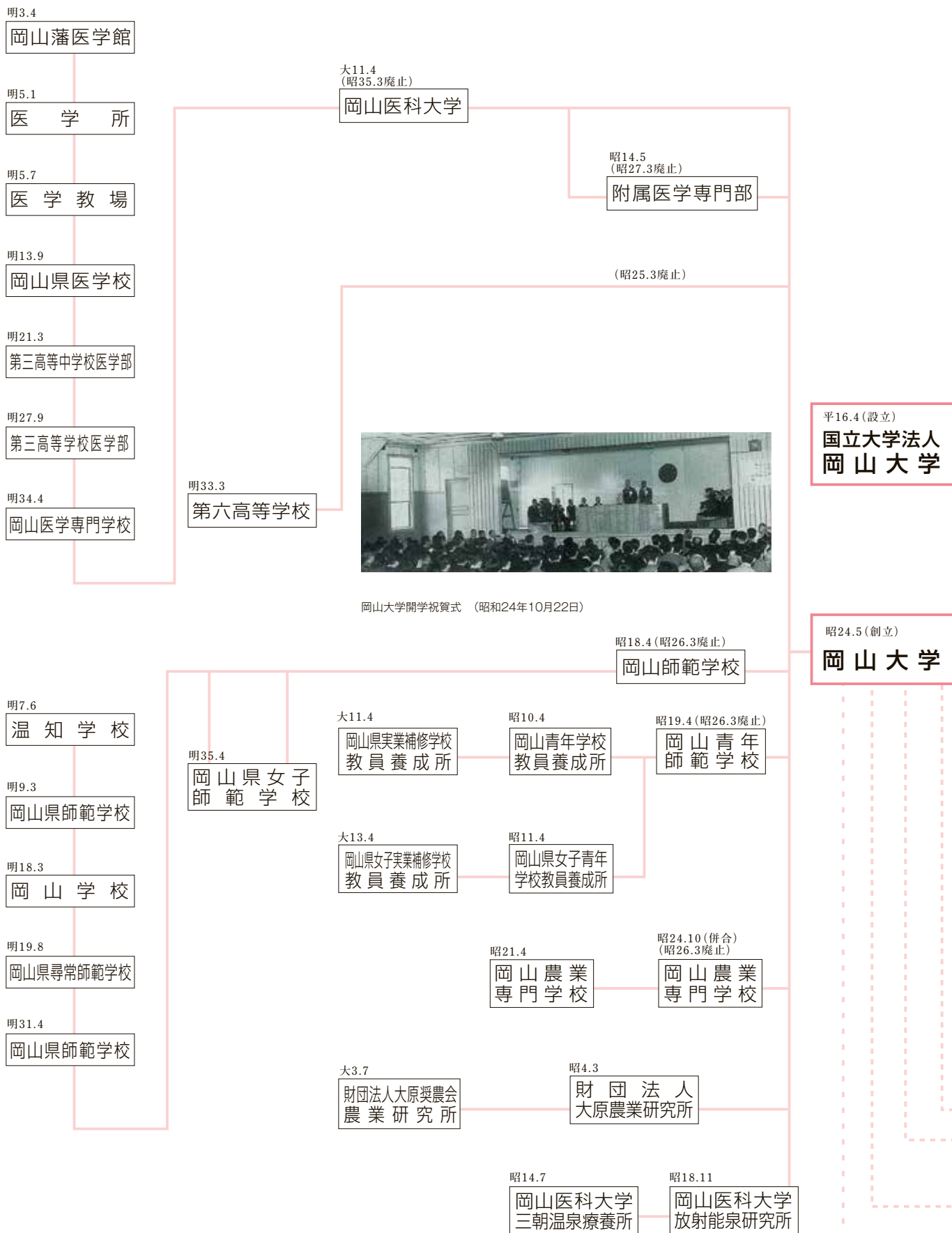
ン

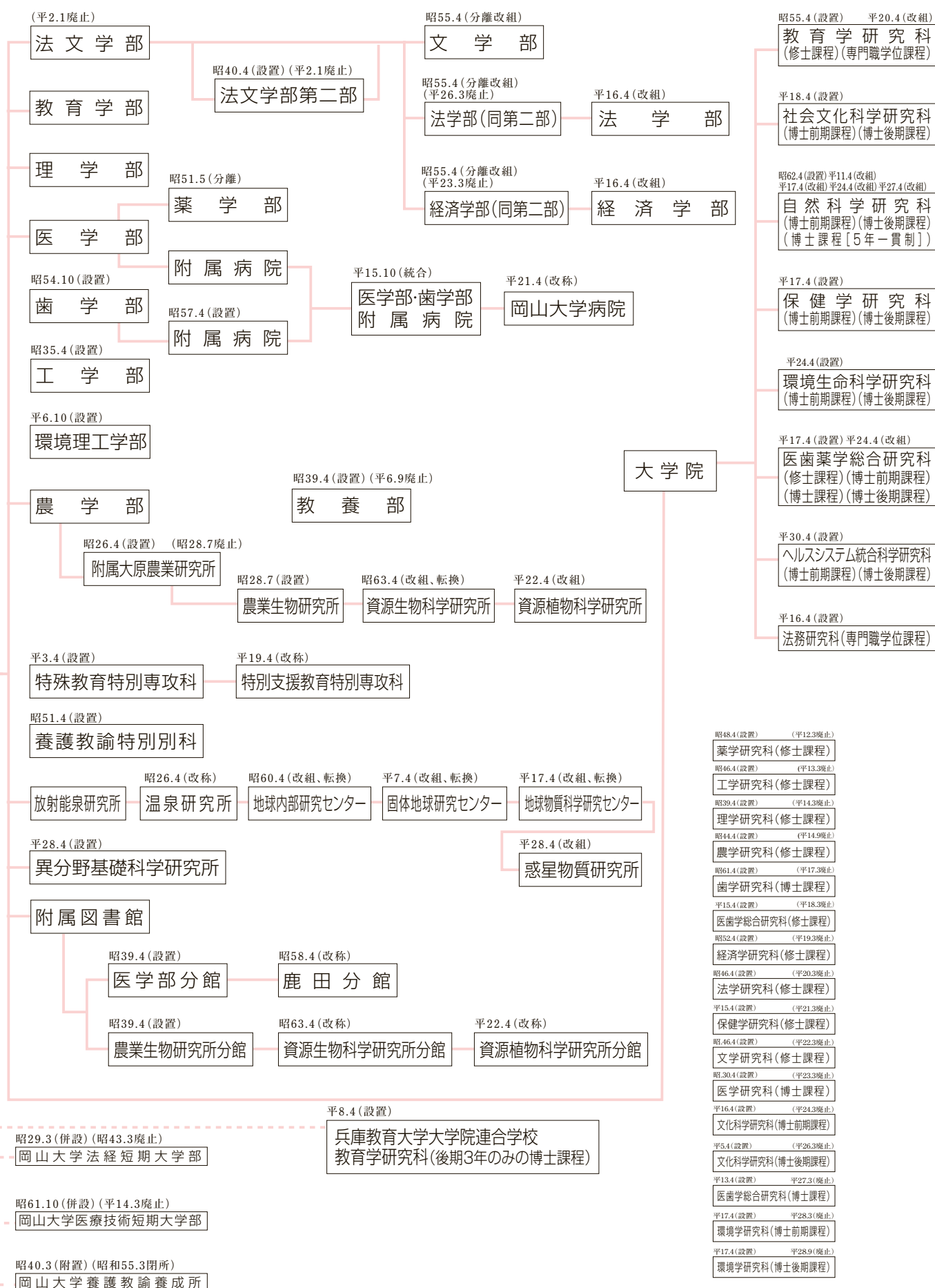
バ

ス

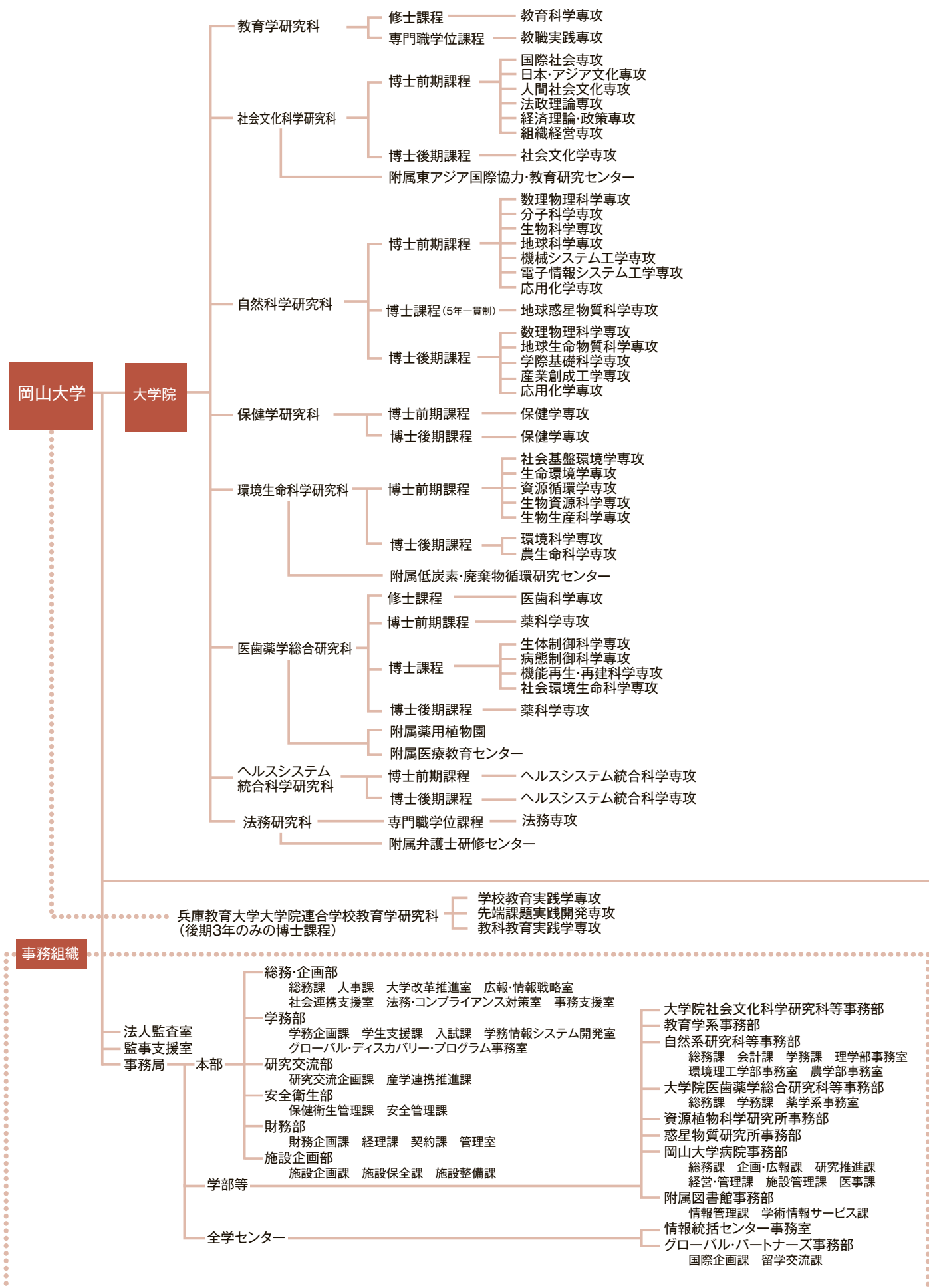
マ

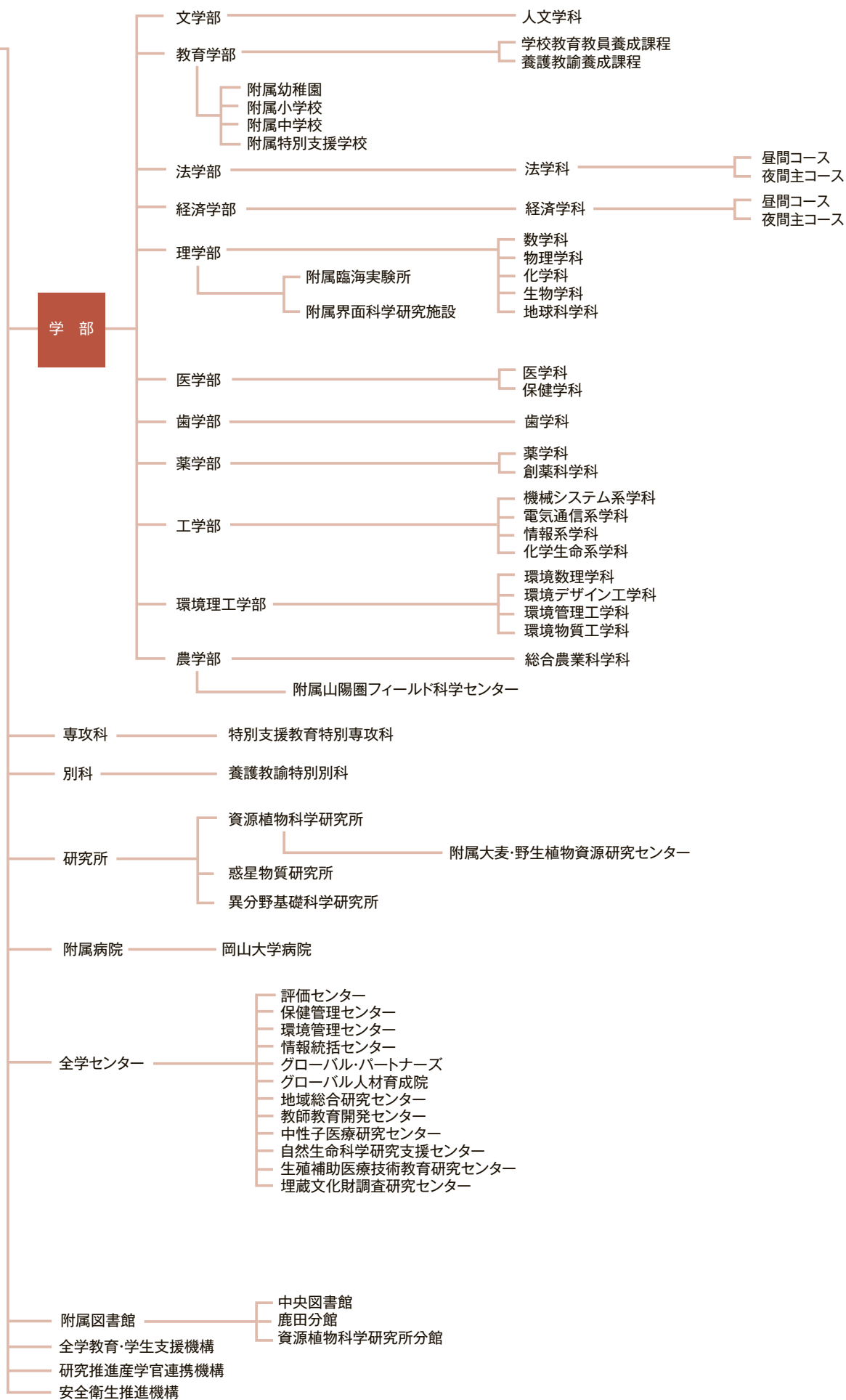
ッ





組織図





役職員

平成30年7月16日現在

役員等

学長	榎 野 博 史
理事・副学長（企画・評価・総務担当）	高 橋 香 代
理事・副学長（教育担当）	佐 野 寛
理事・副学長（研究担当）	竹 内 大 二
理事・副学長（国際担当）	佐 野 寛
理事・岡山大学病院長（医療担当）	金 澤 右
理事・副学長（財務・施設担当）	菅 誠 治
監事	荻 田 昌
監事（非常勤）	上 岡 美保子
副学長（法務・コンプライアンス担当）	吉 野 夏 己
副学長（入試改革担当）	田 原 誠
副学長（社会連携担当）	加 賀 勝
副理事	狩 野 光 伸
副理事	佐 藤 法 仁
副理事	青 尾 謙
副理事	伊 野 英 男
副理事	古 矢 修 一
副理事	横 井 篤 文
学長特別補佐	小 村 俊 平
学長特別補佐	青 山 竜 文
エグゼクティブ・アドバイザー	菅 裕 明
事務局長	渡 邊 和 良

教育学研究科

研究科長	三 村 由香里
副研究科長	高 瀬 淳
副研究科長	桑 原 敏 典
副研究科長	河 田 哲 典

社会文化科学研究科

研究科長	田 中 共 子
副研究科長	遊 佐 徹 一
副研究科長	中 富 公 弘
副研究科長	田 口 雅 弘
附属東アジア国際協力・教育研究センター長	田 中 共 子

自然科学研究科

研究科長	富 岡 憲 治
副研究科長	鶴 田 健 二
副研究科長	多 田 直 哉
副研究科長	門 田 功

保健学研究科

研究科長	竹 田 芳 弘
副研究科長	廣 畑 聡
副研究科長	齋 藤 信 也

環境生命科学研究科

研究科長	舟 橋 弘 晃
副研究科長	西 山 哲
副研究科長	難 波 徳 郎
副研究科長	後 藤 丹十郎
附属低炭素・廃棄物循環研究センター長	舟 橋 弘 晃

医歯薬学総合研究科

研究科長	那 須 保 友
副研究科長	大 原 直 也
副研究科長	上 原 孝

副研究科長	大 塚 愛 二
副研究科長	浅 海 淳 一
副研究科長	三 好 伸 一
附属薬用植物園長	三 好 伸 一
附属医療教育センター長	那 須 保 友

ヘルスシステム統合科学研究科

研究科長	妹 尾 昌 治
副研究科長	五 福 明 夫
副研究科長	出 村 和 彦
副研究科長	早 川 聡 美
副研究科長	兵 藤 好 美

法務研究科

研究科長	神 例 康 博
副研究科長	佐 藤 吾 郎
副研究科長	西 田 和 弘
附属弁護士研修センター長	吉 野 夏 己

文学部

学部長	田 仲 洋 己
副学部長	宮 崎 和 人
副学部長	藤 井 和 佐

教育学部

学部長	三 村 由香里
副学部長	高 瀬 淳
副学部長	桑 原 敏 典
副学部長	河 田 哲 典
附属幼稚園長	高 橋 敏 之
附属小学校長	田 中 智 生
附属中学校長	川 田 力 孝
附属特別支援学校長	仲 矢 明 孝

法学部

学部長	河 原 祐 馬
副学部長	黒 神 直 純
副学部長	塩 谷 毅

経済学部

学部長	張 星 源
副学部長	村 井 浄 信
副学部長	古 松 紀 子

理学部

学部長	吉 野 雄 二
副学部長	市 岡 優 典
副学部長	西 原 康 師
附属臨海実験所長	坂 本 竜 哉
附属界面科学研究施設長	横 谷 尚 睦

医学部

学部長	大 塚 愛 二
副学部長	松 川 昭 博
副学部長	中 塚 幹 也

歯学部

学部長	浅 海 淳 一
副学部長	鳥 井 康 弘
副学部長	久保田 聡

安全衛生部長	林 崇 史	大学院医歯薬学総合研究科等事務部長	植 田 宏
保健衛生管理課長	恒 國 昭 二	大学院医歯薬学総合研究科等総務課長	川 口 克 己
安全管理課長	兼 田 修 平	大学院医歯薬学総合研究科等学務課長	石 田 達 彦
財務部長	藤 波 豊 彦	大学院医歯薬学総合研究科等薬学系事務室事務長	大 田 学
財務企画課長	佐々木 淳	資源植物科学研究所事務長	岸 繁 樹
経理課長	浜 家 隆	惑星物質研究所事務長	河 本 雅 紀
契約課長	須 藤 晴 夫	岡山大学病院事務部長	山 口 太 司
管理室長	藤 本 保 博	岡山大学病院総務課長	木 村 勝 弘
施設企画部長	松 山 忠 生	岡山大学病院企画・広報課長	早 川 みどり
施設企画課長	岩 佐 和 則	岡山大学病院研究推進課長	三 枝 豊
施設保全課長	新 西 正 典	岡山大学病院経営・管理課長	有 川 正 二
施設整備課長	江 草 龍 源	岡山大学病院施設管理課長	茅 原 勲
[学部等]		岡山大学病院医事課長	直 原 敦 美
大学院社会文化科学研究科等事務長	長 砂 毅	附属図書館事務部長	大 元 利 彦
教育学系事務長	阿 藤 俊 二	附属図書館情報管理課長	田 中 俊 二
自然系研究科等事務部長	高 月 希一郎	附属図書館学術情報サービス課長	森 谷 めぐみ
自然系研究科等総務課長	藤 原 浩 一	[全学センター]	
自然系研究科等会計課長	阿 部 秀 一	情報統括センター事務室長	早 竹 昭 人
自然系研究科等学務課長	近 常 聡	グローバル・パートナーズ事務部長	川 畑 順 一
自然系研究科等理学部事務室長	原 田 大 作	グローバル・パートナーズ国際企画課長	原 田 美 樹
自然系研究科等環境理工学部事務室長	藤 原 浩 一	グローバル・パートナーズ留学交流課長	今 西 勝
自然系研究科等農学部事務室長	近 藤 一 彦		

経営協議会委員

平成30年5月1日現在

学長	榎 野 博 史	日本司法支援センター理事長	板 東 久美子
理事（企画・評価・総務担当）	高 橋 香 代	岡山県青少年育成県民会議会長	門 野 八洲雄
理事（教育担当、国際担当）	佐 野 寛	倉敷市長	伊 東 香 織
理事（研究担当）	竹 内 大 二	岡山済生会総合病院名誉院長	糸 島 達 也
理事（医療担当）	金 澤 右	弁護士	小 林 裕 彦
理事（財務・施設担当）	菅 誠 治	山陽新聞社代表取締役社長	松 田 正 己
事務局長	渡 邊 和 良	株式会社中国銀行専務取締役	青 山 肇
名古屋外国語大学長	亀 山 郁 夫	岡山トヨタ自動車株式会社代表取締役社長	梶 谷 俊 介

教育研究評議会評議員

平成30年5月1日現在

学長	榎 野 博 史	大学院法務研究科長	神 例 康 博
理事（企画・評価・総務担当）	高 橋 香 代	文学部長	田 仲 洋 己
理事（教育担当、国際担当）	佐 野 寛	法学部長	河 原 祐 馬
理事（研究担当）	竹 内 大 二	経済学部長	張 星 源
理事（医療担当）	金 澤 右	理学部長	吉 野 雄 二
理事（財務・施設担当）	菅 誠 治	医学部長	大 塚 愛 二
事務局長	渡 邊 和 良	歯学部長	浅 海 淳 一
副学長（法務・コンプライアンス担当）	吉 野 夏 己	薬学部長	三 好 伸 一
副学長（入試改革担当）	田 原 誠	工学部長	阿 部 匡 伸
副学長（社会連携担当）	加 賀 勝	環境理工学部長	木 村 邦 生
大学院教育学研究科長・教育学部長	三 村 由香里	農学部長	門 田 充 司
大学院社会文化科学研究科長	田 中 共 子	資源植物科学研究所長	前 川 雅 彦
大学院自然科学研究科長	富 岡 憲 治	惑星物質研究所長	薛 献 宇
大学院保健学研究科長	竹 田 芳 弘	異分野基礎科学研究所長	久保園 芳 博
大学院環境生命科学研究科長	舟 橋 弘 晃	附属図書館長	今 津 勝 紀
大学院医歯薬学総合研究科長	那 須 保 友	グローバル・ディスカバリー・プログラムディレクター	中 谷 文 美
大学院ヘルスシステム統合科学研究科長	妹 尾 昌 治		

大学院

平成30年5月1日現在

研究科	区分	専攻		
教育学研究科	修士課程	教育科学専攻		
社会文化科学研究科	博士前期課程	国際社会専攻	日本・アジア文化専攻	人間社会文化専攻
		法政理論専攻	経済理論・政策専攻	組織経営専攻
	博士後期課程	社会文化学専攻		
自然科学研究科	博士前期課程	数理物理科学専攻	分子科学専攻	生物科学専攻
		地球科学専攻	機械システム工学専攻	電子情報システム工学専攻
		応用化学専攻		
	博士課程	地球惑星物質科学専攻		
	博士後期課程	数理物理科学専攻	地球生命物質科学専攻	学際基礎科学専攻
		産業創成工学専攻	応用化学専攻	
保健学研究科	博士前期課程	保健学専攻		
	博士後期課程	保健学専攻		
環境生命科学研究科	博士前期課程	社会基盤環境学専攻	生命環境学専攻	資源循環学専攻
		生物資源科学専攻	生物生産科学専攻	
	博士後期課程	環境科学専攻	農生命科学専攻	
医歯薬学総合研究科	修士課程	医歯科学専攻		
	博士前期課程	薬科学専攻		
	博士課程	生体制御科学専攻	病態制御科学専攻	機能再生・再建科学専攻
		社会環境生命科学専攻		
ヘルスシステム統合科学研究科	博士前期課程	ヘルスシステム統合科学専攻		
	博士後期課程	ヘルスシステム統合科学専攻		
教育学研究科	専門職学位課程	教職実践専攻		
法務研究科	専門職学位課程	法務専攻		
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	後期3年のみの博士課程	学校教育実践学専攻	先端課題実践開発専攻	教科教育実践学専攻

学 部

平成30年5月1日現在

学科・課程		学科目		
文学部 (1学科 5学科目)	人文学科	哲学芸術学	行動科学	歴史学
		アジア言語文化論	欧米言語文化論	
教育学部 (2課程 17学科目)	学校教育教員養成課程	国語教育	社会科教育	数学教育
		理科教育	音楽教育	美術教育
		保健体育	家政教育	技術教育
		英語教育	特別支援教育	幼児教育
		教育学	教育心理学	地域教育
	養護教諭養成課程	養護教育	地域教育	
法学部 (1学科 4学科目)	法学科 (含夜間主コース)	公共法	市民法	比較国際法
		現代政治学		
経済学部 (1学科 4学科目)	経済学科 (含夜間主コース)	経済理論・統計	比較経済	政策科学
		経営・会計		
理学部 (5学科 5学科目)	数学科	数学		
	物理学科	物理学		
	化学科	化学		
	生物学科	生物学		
	地球科学科	地球科学		
医学部 (2学科 20学科目)	医学科	人体構造機能学	循環器病態学	麻酔・救急医学
		脳神経制御学	器官病態学	母性・小児医学
		腫瘍制御医学	生体情報医学	感覚・運動機能病態学
		法医生命倫理学	感染防御医学	社会環境健康医学
	保健学科	基礎看護学	成人看護学	母子看護学
		地域看護学	医用放射線科学	放射線診療技術学
		病態検査学	機能解析学	
歯学部 (1学科 5学科目)	歯学科	口腔基礎常態学	口腔基礎病態学	口腔病態外科学
		口腔機能再建学	予防・発育加齢歯科学	
薬学部 (2学科 2学科目)	薬学科	医療薬学		
	創薬科学科	医薬品開発科学		
工学部 (4学科 4学科目)	機械システム系学科	機械システム系学		
	電気通信系学科	電気通信系学		
	情報系学科	情報系学		
	化学生命系学科	化学生命系学		
環境理工学部 (4学科 4学科目)	環境数理学科	環境数理学		
	環境デザイン工学科	環境デザイン工学		
	環境管理工学科	環境管理工学		
	環境物質工学科	環境物質工学		
農学部 (1学科 4学科目)	総合農業科学科	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学
		環境生態学		

マッチングプログラムコース

学生一人一人の個性や能力を一層伸ばすことを目指して、既成のカリキュラムの枠組みを越えて学部・学科を横断的に、主体的に履修プログラム（課題提案型履修プログラム）を作ることにより、各自の学習目的を達成するとともに明確なキャリアデザイン能力を持つ学生を育成するコースです。所定の単位を修得した学生は、卒業認定に基づき「学士（学術）」の学位が授与されます。

グローバル・ディスカバリー・プログラム（2017年10月開始）

2017年開設の英語を共通言語とする学士課程プログラムで、世界各地や国内から集まった多様な背景と経験を持つ学生たちが協力し、共に学びます。本プログラムでは、アカデミック・アドバイザーの丁寧な指導の下に、現在の関心や将来の目標にマッチした、既存の学部・学科の枠にとらわれない幅広い科目履修を通じて専門的知識を身につけ、グローバル課題解決に向けて行動できる人材を育てます。所定の単位を修得した学生は、卒業認定に基づき「学士（学術）」の学位が授与されます。

専攻科・別科

- 特別支援教育特別専攻科
- 養護教諭特別別科

研究所

研究所名	内 容
資源植物科学研究所	大正3年、大原孫三郎氏によって農業の研究とその応用による農事の改良を目的として設立された財団法人大原農業研究所を前身としており、昭和27年に岡山大学に移管された。翌年には、農業生物研究所（附置研究所）となり、昭和63年資源生物科学研究所、平成22年4月からは共同利用・共同研究拠点として資源植物科学研究所と改組した。植物ストレス科学共同研究コア、次世代作物共同研究コアと大麦・野生植物資源研究センターのもと、5つの研究ユニット（大気環境ストレス、土壌環境ストレス、環境生物ストレス、遺伝資源、ゲノム育種）を置き、国内外の研究者と連携し、劣悪環境でも生育可能な作物の創出に向けた基礎研究を推進している。
惑星物質研究所	平成28年4月地球物質科学研究センターを改組し設置された。当研究所の歴史は昭和26年に設置された岡山大学温泉研究所より始まり、4度の改組を経て現在に至っている。この間、地球化学そして実験地球物理学的手法に基づき地球および惑星物質科学研究に一貫して取り組み、先進的な研究活動が国際的にも高く評価されている。当研究所には、惑星物質基礎科学部門、惑星システム科学部門、生命・流体物質科学部門の3つの研究部門が設置される。地球を含む惑星物質の起源・進化・ダイナミクスの探求に加え、総合的かつ普遍的な物質科学のアプローチを用いた、既存の学問分野にとらわれない先進的研究の開拓にも積極的に取り組んでいる。
異分野基礎科学研究所	物理学と基礎生命科学の研究の発展と、それを融合した新しい研究分野の創出を目指して、平成28年4月に設立された。「量子宇宙」「光合成・構造生物学」「超伝導・機能材料」の3つの研究コアがあり、具体的な研究テーマは、レーザー分光学を使ったニュートリノ物理学の研究、光合成の構造と機能の解明ならびに人工的な光合成システムの創製、高温超伝導材料や次世代エレクトロニクスに向けた新機能材料の開発、理論化学的アプローチによるエネルギー貯蔵物質の研究である。また、これらの研究を融合発展させて、エネルギー問題解決につながる新材料やデバイスの創製を進めることも念頭に入れている。

岡山大学病院

平成30年6月1日現在

区 分	診療科名		
医 科	総合内科 呼吸器・アレルギー内科 循環器内科 消化管外科 乳腺・内分泌外科 小児外科 形成外科 耳鼻咽喉科 麻酔科蘇生科 小児神経科 小児放射線科 救命救急科	消化器内科 腎臓・糖尿病・内分泌内科 脳神経内科 肝・胆・膵外科 泌尿器科 小児心臓血管外科 皮膚科 精神科神経科 小児科 小児血液・腫瘍科 産科婦人科 病理診断科	血液・腫瘍内科 リウマチ・膠原病内科 感染症内科 呼吸器外科 心臓血管外科 整形外科 眼科 脳神経外科 小児循環器科 小児麻酔科 放射線科 緩和支援医療科
歯 科	総合歯科 クラウンブリッジ補綴科 口腔外科（病態系） 矯正歯科	むし歯科 咬合・義歯補綴科 歯科放射線・口腔診断科 予防歯科	歯周科 口腔外科（再建系） 歯科麻酔科 小児歯科

全学センター

センター名	事業内容
評価センター	各種の評価を通じて、本学の教育研究活動等の質的な保証と改善を図り、社会への説明責任を果たすことを目的としている。教員活動評価など各種自己評価や第三者評価に関する企画立案や総合調整、評価結果の分析と改善策の提言を行う。
保健管理センター	学生及び教職員の健康の保持、増進を図り、健全な生活が送れるように設けられている。当センターでは、定期的健康診断を実施し、病気の予防、早期発見に努め、また、心身に関する健康相談及び指導が、各科の専門医、保健師、臨床心理士、栄養士により行われている。 鹿田地区には、鹿田室が設置されている。
環境管理センター	本学の環境マネジメント及び労働安全の充実を図る目的で設置されている。環境管理業務（排水監視、有害廃棄物の適正管理及び処分、廃棄物の発生抑制、環境マネジメントの推進）、安全管理業務（職場や実験室の化学物質の適正管理の推進）とその教育・研究を行っている。
情報統括センター	教育研究に必要なICT環境の整備と管理運用を統括的に推進することを目的としている。具体的には情報戦略の支援、高度なICT環境の整備、情報セキュリティ・情報倫理遵守の推進、情報教育の企画・運営及び実施である。
グローバル・パートナーズ	本学の国際化に向けた取組を主体的に企画・実施するとともに、各部署の国際交流を強力にサポートするため、平成26年7月に国際センターを改組して設置された。海外大学等との交流協定の締結や、短期留学プログラム（EPOK）・海外語学研修による学生の海外派遣、本学に入学予定の外国人留学生の渡日支援及び修学支援のための各種情報やサービス提供を担う。
グローバル人材育成院	本学のグローバル教育の取り組みとして将来グローバルに活躍できる中核的人材の育成を目指し平成25年4月に設置された。各学部及び関係する全学センターとの連携の下、グローバル人材育成特別コースの運営を行う。本コースでは海外短期研修や留学等を含む独自のカリキュラムにより実践的な英語力・論理的思考力・コミュニケーション力等を養い、豊かな国際感覚とグローバルリーダーシップを育む。
地域総合研究センター	大学の社会貢献活動の強化を目的として、平成23年11月に設置された。全学体制からなる運営委員会を置き、大学・地域間の各種政策に関するコーディネート及びシンクタンク機能を持ち、組織的な社会貢献・地域連携を推進している。教員・地域の方々と対話を通して学生に実践力を身につけさせるため、まちなかキャンパス、グローバル人材育成をサポートする様々なプロジェクトを実施している。また、平成26年度からは、新たに実践型社会連携教育プログラムの構築に取り組み、実践知教育を導入・展開している。
教師教育開発センター	平成22年4月に設置され、全学教職コア・カリキュラムの研究開発、教職指導（教職支援・相談業務）、県下の協力校、教育学部附属学校園、教育委員会等、関連諸機関との連携協力事業、理数系教員養成事業等を実施している。
中性子医療研究センター	薬学と素粒子物理学という異分野融合による最新のがん放射線治療法である「ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）」の研究・教育に取り組むセンターとして平成29年4月に設置された。本学が開発した画期的なホウ素薬剤と名古屋大学の中性子発生装置技術に加え、国際原子力機関（IAEA）や国内外一線級のBNCT研究者との連携により、岡山発の革新的で全世界に輸出可能ながん治療法の確立と、集学的治療における位置づけを明確にした中性子医療という新規分野の拠点形成を目指している。
自然生命科学研究支援センター	生命科学をはじめとする自然科学領域の教育・研究の高度化、学際領域の融合、先端研究の推進、社会との連携等の進展などに対応した支援体制を強化し、本学における教育研究の一層の進展に資することを目的としている。研究領域を超えて長期的視点から一元的・有機的な運営を図るとともに、多面的な教育研究支援業務を行う。
生殖補助医療技術教育研究センター	生殖補助医療に不可欠な生殖補助医療技術者（胚培養士）を志す学生のキャリア養成教育や現役胚培養士のリカレント教育、およびそれに関係する領域の基礎・応用研究を行う。諸外国の教育研究機関と連携して世界的生殖研究拠点形成を目指している。
埋蔵文化財調査研究センター	学内遺跡の保護と調査研究を目的とし、建物の建設に伴う発掘調査等を通じて、縄文時代から近代にいたる遺跡の実態解明に取り組む。発掘調査報告書の刊行や、展示会の開催、および出土資料を用いた教育活動などを行っている。

附属学校

■ 幼稚園（3年保育） ■ 小学校 ■ 中学校 ■ 特別支援学校（小学部、中学部、高等部）

附属図書館

附属図書館は、県内最多の蔵書を有する図書館で、中央図書館、鹿田分館、資源植物科学研究所分館から構成されており、全体で約205万冊の図書を所蔵している。図書館のサービスは大学の枠を超え、地域や他の教育機関等に広く展開している。ホームページを基軸とした電子図書館サービスは学内出版物や約59,000タイトルの電子ジャーナル、31種のデータベースの提供、岡山大学の学術研究成果の発信など機能強化が進んでいる。

蔵書数

平成30年5月1日現在

区 分	和漢書	洋書	計
中央図書館	1,156,590	476,528	1,633,118
鹿田分館	117,305	105,994	223,299
資源植物科学研究所分館	95,790	92,353	188,143
惑星物質研究所	579	4,486	5,065
合計	1,370,264	679,361	2,049,625

池田家文庫

附属図書館中央図書館では、旧岡山藩主池田家（1632-1871）が襲蔵してきた記録・古文書・絵図・和書・漢籍を約10万点所蔵している。池田家文庫は、江戸時代幕藩制度の研究上、貴重な一次資料として広く知られている。古文書類はマイクロフィルム化（17分野、2,486リール）され、館内で閲覧利用することができる。絵図類はデジタル化がほぼ終了し、インターネットでも一部を公開している。また、毎年岡山シティミュージアムと共催で池田家文庫絵図展を開催し、地域の文化力向上に貢献している。



備前国図（慶長年間）

共同利用・共同研究拠点

■ 資源植物科学研究所 植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点

平成21年に文部科学省より「植物遺伝資源・ストレス科学研究」の共同利用・共同研究拠点に認定され、平成22年度より共同研究を公募し、その遂行により我が国の当該研究の拡大と推進を補佐している。所内に保有する最先端共通研究機器の有効利用のため、大学内外の研究者との共同研究において簡便に利用できる体制を整えており、敷地内に宿泊施設を設置し、共同研究の推進を支援する環境も充実している。拠点認定以来すでに様々な共同研究の成果がもたらされている。

■ 惑星物質研究所 地球・惑星物質科学研究拠点

地球・惑星物質科学研究拠点として、前身の研究センターより引き続き共同利用・共同研究拠点の役割を担う。先進的な惑星物質科学研究の発展のため、自由闊達な学問の実践により社会的・文化的発展モデルとなる研究拠点を確立し学術コミュニティの発展に寄与することがそのミッションとなる。加えて拠点の国際的共同研究機能をさらに向上させ、国際的な研究交流を主導することによって新たな研究の方向性を切り拓く。

教育関係共同利用拠点

■ 理学部附属臨海実験所 多様な生物を用いたグローバル先端実験教育のための共同利用拠点

中四国・九州の臨海実験所の中心として、平成23年4月、関連施設では初めて文部科学省により認定を受けた。平成28年4月からは、生体制御学を主とした高度な実験生物学の研究や実習の機会を国内外に提供する全国的な拠点として、再認定された。全国臨海臨湖実験所長会議議長校として、大学間連携のリード等も高く評価されている。

機構

センター名	事業内容
全学教育・学生支援機構	本学の理念・教育目標を達成するため、1)全学の教育システムの整備、2)入学者選抜・高大接続、3)教養教育その他全学共通教育、4)学修支援、5)学生の生活支援、6)キャリア支援・就職支援等を推進するとともに、調査研究、企画、開発及び提言を行っている。 「高等教育開発推進センター」「基幹教育センター」「アドミッションセンター」「学生総合支援センター」の4センターにより構成され、学部・研究科及び他の全学組織と連携しながら、統合的に活動している。
研究推進産学官連携機構	本学における学術研究の推進と産学官連携の推進を図るとともに、学術研究の成果である知的財産を組織的に管理・活用し、本学で生みだされた優れた研究成果を産学官連携を通じて社会に還元する等の役割を担っている。「研究推進本部」「産学官連携本部」「知的財産本部」「医療系本部」の4本部及び「産学官融合センター」「新技術研究センター」の2センターにより構成されている。
安全衛生推進機構	平成27年1月に発足。当機構は本学構成員等の安全と健康の確保を図り、安全衛生に関する本学の社会的責任を果たすため、所要の調査・研究を行い、安全衛生に関する本学の施策・方針を企画・立案するとともに、指導・助言を行う。また、学内組織である保健管理センターと環境管理センターを軸として全学センター、11学部と8研究科とも連携しながら安全衛生環境の向上を目指して協働する。

教育研究プログラム戦略本部

中国・四国地域の中核大学としての責務を果たすとともに、産業・社会情勢などの変化及び学問領域の新たな発展に対応し、学部・研究科等の枠を超えて教育の高度化及び研究の活性化を戦略的に推進することを目的として平成20年6月に設置された。教育プログラム部門、プロジェクト研究部門、環境整備部門で構成されている。特定の教育研究プログラムの実施を行うための推進拠点を置いている。

センター名	事業内容
戦略的プログラム支援ユニット URA 執務室	URAは研究体制や注力分野選定など、本学の研究方針に深く関わる本学経営陣のブレーン組織として、平成24年9月に設置された。本学が「リサーチ・ユニバーシティ：岡山大学」という地位を確立するための研究方針の策定や大学改革の推進支援を役割とし、本学経営陣と共に経営的判断に立って行動する。
異分野融合先端研究コア (RCIS)	平成20～24年度に文部科学省「テニュアトラック普及・定着事業（若手研究者の自立的な研究環境整備促進）」の支援を受け、自立した優秀な若手研究者を育成する場として設置され、のべ13名のテニュアトラック教員を育成してきた。平成30年度は RCIS に配属されているテニュア准教授4名が異分野を融合した新領域研究の創成・発展に向け、自立的環境下で活発な研究・教育活動を行っている。
ナノバイオ標的医療イノベーションセンター (ICONT)	文部科学省・平成18年度科学技術振興調整費「ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成」事業の中核拠点として、平成18年7月に設置され、産学連携学内特区に設定された。設立以来、協働企業*とともに、高齢化日本の喫緊の課題である『がん医療』を主たるターゲット領域とし、現在は、難治固形がんに対する革新的 REIC 遺伝子医薬の臨床開発を最重要課題に据えている。具体的には、産学共同実用化開発事業 (NexTEP) の枠組みの下に、杏林製薬株式会社の参画を得て、悪性胸膜中皮腫を対象とした臨床第Ⅰ/Ⅱa相試験を終了し、臨床第Ⅱ相を開始予定である。さらに、医師主導試験として、肝がんを対象とした臨床第Ⅰ/Ⅰb相試験を実施中であり、脳腫瘍を対象とした臨床第Ⅰ/Ⅱa相試験の開始を予定している。 ※現在の協働企業：杏林製薬株式会社/ 桃太郎源株式会社/ イーピーエス株式会社
インド感染症共同研究センター	平成19年に文部科学省「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」の実施のために、インド国立コレラおよび腸管感染症研究所内に設置された。このプログラムは平成27年度から日本医療研究開発機構「感染症研究国際展開戦略プログラム」(英名: Japan Initiative for Global Research Network on Infectious Diseases) として継続されている。研究センターには、岡山大学から2人の研究者(教授、准教授)と1人の事務職員が常駐者として派遣され、腸管感染症を引き起こす微生物の基礎ならびにその応用研究を活発に展開している。

センター名	事業内容
エラスムス・プラス	エラスムス・プラスは、2014～2020年を対象とした、教育・訓練・青少年・スポーツのためのEUの新しい事業で、生涯教育・学習プログラムおよび前プログラム「エラスムス・ムンドゥス」(2009～2013年)を含む7つの既存のアクションを結集したもので、主に3つの主要アクション、学者・学生が参加できる修士課程のジョイントディグリー、短期交換留学(ICM)とジャン・モネ・プログラムからなる。岡山大学では、前「エラスムス・ムンドゥス」の期間も含め、次のプログラムが採択されている。 BEAM (Build on Euro-Asian Mobility) プログラム (実施期間2010～2014年) EASED (Euro-Asian Sustainable Energy Development) プログラム (実施期間2013～2017年) ICM (International Credit Mobility) プログラム with Alistotle University of Thessaloniki (ギリシャ) (実施期間2015年～) with Trakya University (トルコ) (実施期間2016年～) with University of Pierre and Marie Curie (フランス) (実施期間2017年～) Joint Degree FAME+ EMJMD プロジェクト
グローバル最先端異分野融合研究機構	文部科学省研究大学強化促進事業の支援を受ける本学において、研究戦略や知財管理等を担う研究マネジメント人材群の確保・活用や集中的な研究環境改革を組み合わせた研究力強化に取り組み、本学が強みを持つ研究分野の研究や異分野融合研究を推進することで、研究の量・質を世界レベルまで高めて本学を日本の研究活動の牽引大学とすることを目的とする。

ダイバーシティ推進本部

岡山大学の雇用及び継続的な就業における障壁を取り除き、多様な職員が持てる技能を最大限に発揮させ、本学の持続的発展に資することを目的として、平成21年1月に設置された。

男女共同参画室、次世代育成支援室、障がい者雇用推進室、高齢者雇用安定室の4つの室から構成されており、これらの室を中心に、様々な施策を企画・実施し、長期的視野で組織の持続的発展を図り、全ての職員の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を目指す。

海外拠点

事務所名	事業内容
岡山大学ベトナム事務所	当事務所は本学初の海外事務所であり、学術・教育交流の推進、本学の情報発信並びに国際的に活躍できる本学教職員の養成を行う目的で設置された。平成19年4月から現地スタッフ1人を常駐させ、広くベトナム全域を対象に本学の広報活動や優秀な留学生の確保に向けた諸活動を行っている。
岡山大学中国事務所（長春・瀋陽・上海）	平成19年8月に長春事務所（東北師範大学内）及び瀋陽事務所（中国医科大学内）を、平成27年10月に上海事務所（上海理工大学内）を設置した。中国の重点大学との共同学位プログラムの運営、研究者との情報交換といった学生・学術交流を推進するほか、本学への留学を希望する中国人学生への助言・情報提供、本学のPR活動、国際同窓会中国支部の活動支援等を行っている。また、平成26年11月には長春事務所を国立六大学（千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学）の事務所として共用を開始した。
岡山大学ロンドン事務所	平成27年4月に設置された当事務所は、本学の広報活動や英国の大学・研究機関等との連携強化活動を通じて、学生及び教職員間のグローバル化推進を目指す。本学の英国における窓口としての役割を担い、本学の知名度向上に向けて積極的な情報発信を行う。
岡山大学シリコンバレーオフィス	平成27年11月に米国シリコンバレーに位置するカリフォルニア州フリーモント市に「シリコンバレーオフィス」を開設した。シリコンバレーを中心とした北米の大学、企業、研究所等との国際共同研究、技術移転を推進する国際産学官連携活動を行っている。
国立六大学欧州事務所（オランダ）	平成28年8月に国立六大学（千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学）の共同事務所としてライデン市・シーボルトハウス内に設置した。当事務所は、国立六大学の欧州地域における研究教育活動の支援をはじめ、オランダのみならず欧州大学ネットワークおよび大学アライアンス間連携の推進を主な目的としている。また、六大学の起源である蘭学の歴史およびオランダとの学術的・文化的結びつきに関する情報の発信を行う。
岡山大学 日本留学情報センター（OJEIC）（ミャンマー）	平成26年10月に文部科学省委託事業「留学コーディネーター配置事業（ミャンマー）」（平成30年4月より日本留学海外拠点連携推進事業）に採択され、ミャンマーからの留学生受け入れを促進するため、平成27年2月にヤンゴン市内に「岡山大学 日本留学情報センター（OJEIC）」を設置した。同年3月より、様々な機関の垣根を越え、オールジャパンで日本留学を促進するための司令塔となる留学コーディネーターを常駐させている。

統 計

役職員数

平成30年5月1日現在

区 分	学長	理事	監事	監事（非常勤）	計
役 員	1	5	1	1	8

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	教 諭	計	事務・ 技術職員	合 計
事務局		1					1	201 [48] (2)	202 [48] (2)
大学院教育学研究科	57 [1]	34 [2]	10	[1]			101 [4]	19 [3]	120 [7]
大学院社会文化科学研究科	61	41 [2]	3 [1]	2 [2]	1		108 [5]	23	131 [5]
附属東アジア国際協力・ 教育研究センター									
大学院自然科学研究科	68	55	12	43 [4]	1		179 [4]	52 [3]	231 [7]
大学院保健学研究科	18	10	4	15	1		48		48
大学院環境生命科学研究科	53	57	1	12 [5]	1		124 [5]	[2]	124 [7]
附属低炭素・廃棄物循環 研究センター									
大学院医歯薬学総合研究科	72 [10]	55 [12]	12 [8]	113 [27]	2		254 [57]	53 [81] (1)	307 [138] (1)
附属薬用植物園									
附属医療教育センター		1		3 [2]			4 [2]	1 [2]	5 [4]
大学院ヘルスシステム統合科学研究科	20	10	4 [1]	8 [6]	1		43 [7]	[3]	43 [10]
大学院法務研究科	13	3		1			17	[1]	17 [1]
附属弁護士研修センター									
文学部									
教育学部									
附属学校						99 [2]	99 [2]	8 (1)	107 [2] (1)
法学部									
経済学部									
理学部								5	5
附属臨海実験所				[2]			[2]	1 [1]	1 [3]
附属界面科学研究施設									
医学部								20 [2] (1)	20 [2] (1)
歯学部								1	1
薬学部								2 (1)	2 (1)
工学部				[1]			[1]	16 [1] (2)	16 [2] (2)

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	教 諭	計	事務・ 技術職員	合 計
環境理工学部								3	3
農学部									
附属山陽圏フィールド科学センター								6 [1]	6 [1]
資源植物科学研究所	6	8		4 [10]			18 [10]	13 [2]	31 [12]
附属大麦・野生植物資源研究センター	3	5		3			11	3	14
惑星物質研究所	5 [1]	8		2 [4]	[1]		15 [6]	5 [6] (1)	20 [12] (1)
異分野基礎科学研究所	12 [4]	12 [5]	[7]	4 [13]			28 [29]	[2]	28 [31]
岡山大学病院	19 [4]	17 [1]	55 [1]	104 [62]			195 [68]	791 [949] (5)	986 [1,017] (5)
評価センター									
保健管理センター	2	1		2 [1]			5 [1]	5	10 [1]
環境管理センター	1	1		1			3		3
情報統括センター	1	2					3	9	12
グローバル・パートナーズ	3	1 [1]	[4]				4 [5]	16 [14]	20 [19]
グローバル人材育成院	7	9					16		16
地域総合研究センター	2	[1]		1			3 [1]	[1]	3 [2]
教師教育開発センター	2	1	1				4		4
中性子医療研究センター	1 [2]	2 [1]					3 [3]	[2]	3 [5]
自然生命科学研究支援センター	3	1		3 [4]	1		8 [4]	8 [11]	16 [15]
生殖補助医療技術教育研究センター		1		1			2		2
埋蔵文化財調査研究センター	1			4			5		5
附属図書館								23 [1]	23 [1]
全学教育・学生支援機構	13 [1]	24 [1]	1 [4]	2			40 [6]	[1]	40 [7]
研究推進産学官連携機構	2 [1]	2 [1]					4 [2]	[3]	4 [5]
安全衛生推進機構	1						1		1
戦略的プログラム支援ユニット								[6]	[6]
異分野融合先端研究コア		4		[4]			4 [4]	[1]	4 [5]
合計	446 [24]	366 [27]	103 [26]	328 [148]	8 [1]	99 [2]	1,350 [228]	1,284 [1,147] (14)	2,634 [1,375] (14)

注1：[]は契約職員（フルタイム）、()は再雇用職員（フルタイム）とともに外数。

注2：岡山大学東京オフィス、法人監査室は事務局に含む。

学生数

大学院

平成30年5月1日現在

研究科 区 分	専 攻	入学定員	収容定員	現 員					
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
教育学研究科 (修士課程)	教育科学専攻	37	37	44					44
	学校教育学専攻		6		5				5
	発達支援学専攻		9		9				9
	教科教育学専攻		47	4	41				45
	教育臨床心理学専攻		8		9				9
	小計	37	107	48	64				112
社会文化科学研究科 (博士前期課程)	国際社会専攻	14	14	4					4
	日本・アジア文化専攻	12	12	13					13
	人間社会文化専攻	30	30	15					15
	法政理論専攻	15	15	7					7
	経済理論・政策専攻	6	6	2					2
	社会文化基礎学専攻		27	1	27				28
	比較社会文化学専攻		40	12	55				67
	公共政策科学専攻		19	3	15				18
	組織経営専攻	11	25	7	19				26
	小計	88	188	64	116				180
自然科学研究科 (博士前期課程)	数理物理科学専攻	38	76	37	35				72
	分子科学専攻	24	48	22	24				46
	生物科学専攻	22	44	19	17				36
	地球科学専攻	16	32	18	14				32
	機械システム工学専攻	98	196	124	115				239
	電子情報システム工学専攻	90	180	96	103				199
	応用化学専攻	50	100	60	54				114
	生命医用工学専攻		57	2	70				72
	小計	338	733	378	432				810
保健学研究科 (博士前期課程)	保健学専攻	26	52	26	29				55
	小計	26	52	26	29				55
環境生命科学研究科 (博士前期課程)	社会基盤環境学専攻	30	60	18	25				43
	生命環境学専攻	23	46	22	26				48
	資源循環学専攻	43	86	41	39				80
	生物資源科学専攻	25	50	27	29				56
	生物生産科学専攻	38	76	43	29				72
	小計	159	318	151	148				299
医歯薬学総合研究科 (修士課程)	医歯科学専攻	20	40	25	29				54
	小計	20	40	25	29				54
医歯薬学総合研究科 (博士前期課程)	薬科学専攻	37	77	34	35				69
	小計	37	77	34	35				69
ヘルスシステム統合科学研究科 (博士前期課程)	ヘルスシステム統合科学専攻	80	80	85					85
	小計	80	80	85					85
合計（修士課程・博士前期課程）		785	1,595	811	853				1,664

研究科	区 分	専 攻	入学定員	収容定員	現 員					計
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
社会文化科学研究科 （博士後期課程）		社会文化学専攻	12	36	10	11	36			57
		小計	12	36	10	11	36			57
自然科学研究科 （博士課程）		地球惑星物質科学専攻	4	20	3	5	1		4	13
		小計	4	20	3	5	1		4	13
自然科学研究科 （博士後期課程）		数理物理学専攻	6	26	5	2	9			16
		地球生命物質科学専攻	11	45	13	13	13			39
		学際基礎科学専攻	10	10	5					5
		産業創成工学専攻	18	60	18	11	21			50
		応用化学専攻	5	19	5	5	4			14
		化学生命工学専攻					4			4
		生命医用工学専攻		20	5	9	14			28
		小計	50	180	51	40	65			156
保健学研究科 （博士後期課程）		保健学専攻	10	30	11	10	42			63
		小計	10	30	11	10	42			63
環境生命科学研究科 （博士後期課程）		環境科学専攻	22	66	20	20	20			60
		農生命科学専攻	20	60	25	14	23			62
		小計	42	126	45	34	43			122
医歯薬学総合研究科 （博士課程）		生体制御科学専攻	25	100	35	33	31	64		163
		病態制御科学専攻	62	248	73	73	74	170		390
		機能再生・再建科学専攻	28	112	33	32	28	71		164
		社会環境生命科学専攻	13	52	17	10	17	30		74
		小計	128	512	158	148	150	335		791
医歯薬学総合研究科 （博士後期課程）		薬科学専攻	9	29	6	2	8			16
		小計	9	29	6	2	8			16
ヘルスシステム統合科学研究科 （博士後期課程）		ヘルスシステム統合科学専攻	16	16	1					1
		小計	16	16	1					1
合計（博士課程・博士後期課程）			271	949	285	250	345	335	4	1,219
教育学研究科 （専門職学位課程）		教職実践専攻	45	65	40	19				59
法務研究科 （専門職学位課程）		法務専攻	24	78	13	13	20			46
合計（専門職学位課程）			69	143	53	32	20			105
総 計			1,125	2,687	1,149	1,135	365	335	4	2,988
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究 科（後期3年のみの博 士課程）		学校教育実践学専攻	10	30		3	4			7
		先端課題実践開発専攻	5	15		2	3			5
		教科教育実践学専攻	17	51	3	4	13			20
		小計	32	96	3	9	20			32

※兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学（指導教員）に属する学生の学生数である。

学部

平成30年5月1日現在

学 部	学科・課程	入学定員	収容定員	現 員						
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
文学部	人文学科	175	700	177	182	188	227			774
	小計	175	700	177	182	188	227			774
教育学部	学校教育教員養成課程	250	1,000	247	263	259	290			1,059
	養護教諭養成課程	30	120	30	29	30	31			120
	小計	280	1,120	277	292	289	321			1,179
法学部	法学科（昼間コース）	205	820	212	207	213	273			905
	法学科（夜間主コース）	20	80	22	22	20	31			95
	小計	225	900	234	229	233	304			1,000
経済学部	経済学科（昼間コース）	205	820	208	215	212	259			894
	経済学科（夜間主コース）	40	160	43	43	44	58			188
	小計	245	980	251	258	256	317			1,082
理学部	数学科	20	80	20	20	30	25			95
	物理学科	35	140	38	34	54	36			162
	化学科	30	120	33	31	52	34			150
	生物学科	30	120	33	29	46	36			144
	地球科学科	25	100	27	26	35	31			119
	小計	140 〔20〕	560 〔40〕	151	140	217	162			670
医学部	医学科	112 〔5〕	687 〔25〕	113	133	125	113	119	125	728
	保健学科	160 〔20〕	640 〔40〕	160	157	171	183			671
	小計	272 〔5〕〔20〕	1,327 〔25〕〔40〕	273	290	296	296	119	125	1,399
歯学部	歯学科	48 〔5〕	288 〔15〕〔5〕	49	55	52	54	51	45	306
	小計	48 〔5〕	288 〔15〕〔5〕	49	55	52	54	51	45	306
薬学部	薬学科	40	240	41	42	42	43	37	43	248
	創薬科学科	40	160	42	43	41	45			171
	小計	80	400	83	85	83	88	37	43	419
工学部	機械システム系学科	160	640	162	182	189	184			717
	電気通信系学科	100	400	106	115	122	115			458
	情報系学科	60	240	64	70	74	59			267
	化学生命系学科	140	560	143	151	152	155			601
	通信ネットワーク工学科					1				1
	小計	460 〔30〕	1,840 〔60〕	475	518	538	513			2,044
環境理工学部	環境数理学科	20	80	19	19	28	18			84
	環境デザイン工学科	50	200	52	53	60	54			219
	環境管理工学科	40	160	44	40	41	44			169
	環境物質工学科	40	160	41	44	51	39			175
	小計	150	600	156	156	180	155			647
農学部	総合農業科学科	120	480	126	127	129	134			516
	小計	120	480	126	127	129	134			516
マッチングプログラムコース		-	-		19	24	16			59
	小計	-	-		19	24	16			59
グローバル・ディスカバリー・プログラム		-	-	62						62
	小計	-	-	62						62
	合計	2,195 〔10〕〔70〕	9,195 〔40〕〔145〕	2,314	2,351	2,485	2,587	207	213	10,157

〔 〕 は、第2年次編入学定員で外数

〈 〉 は、第3年次編入学定員で外数

専攻科・別科

平成30年5月1日現在

区 分	定 員	現 員
特別支援教育特別専攻科	15	12
養護教諭特別別科	40	40

児童・生徒及び園児数

平成30年5月1日現在

区 分	学級数	総定員	児童・生徒及び園児数						
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小学校	18	630	105	105	104	103	102	104	623
中学校	15	540	180	177	178				535
特別支援学校	小学部	3	6		6		6		18
	中学部	3	6	5	6				17
	高等部	3	6	8	8				22
幼稚園	3年保育	6	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)				
			48	48	48				144

入学者数

大学院

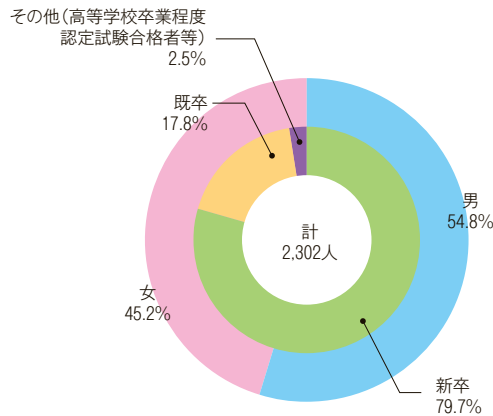
区 分	入学定員	入学時期	志願者数		入学者数	
			男	女	男	女
■修士課程及び博士前期課程						
教育学研究科	37	平成30年4月 平成29年10月	22 3	34 3	15 3	29 3
社会文化科学研究科	88	平成30年4月 平成29年10月	29 13	40 11	21 9	26 6
自然科学研究科	338	平成30年4月 平成29年10月	403 2	50 1	338 2	34 2
保健学研究科	26	平成30年4月	14	29	11	15
環境生命科学研究科	159	平成30年4月 平成29年10月	112 8	53	100 7	43
医歯薬学総合研究科	57	平成30年4月 平成29年10月	43	25	37	20
ヘルスシステム統合科学研究科	80	平成30年4月	78	24	67	18
小計	785		724	270	607	194
				994	801	
■博士課程及び博士後期課程						
社会文化科学研究科	12	平成30年4月 平成29年10月	4 2	5 2	3 2	4 2
自然科学研究科	54	平成30年4月 平成29年10月	30 12	8 6	29 12	8 6
保健学研究科	10	平成30年4月 平成29年10月	2 1	8 1	2 1	7 1
環境生命科学研究科	42	平成30年4月 平成29年10月	19 15	7 4	19 15	7 4
医歯薬学総合研究科	137	平成30年4月 平成29年10月	96 5	46 13	93 4	45 11
ヘルスシステム統合科学研究科	16	平成30年4月	1		1	
小計	271		184	100	178	95
				284	273	
■専門職学位課程						
教育学研究科	45	平成30年4月	19	24	17	23
法務研究科	24	平成30年4月	48	12	14	3
小計	69		67	36	31	26
				103	57	
合計	1,125		975	406	816	315
				1,381	1,131	
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	32	平成30年4月	6	2	3	

※兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学（指導教員）に属する学生の入学者数である。

学部

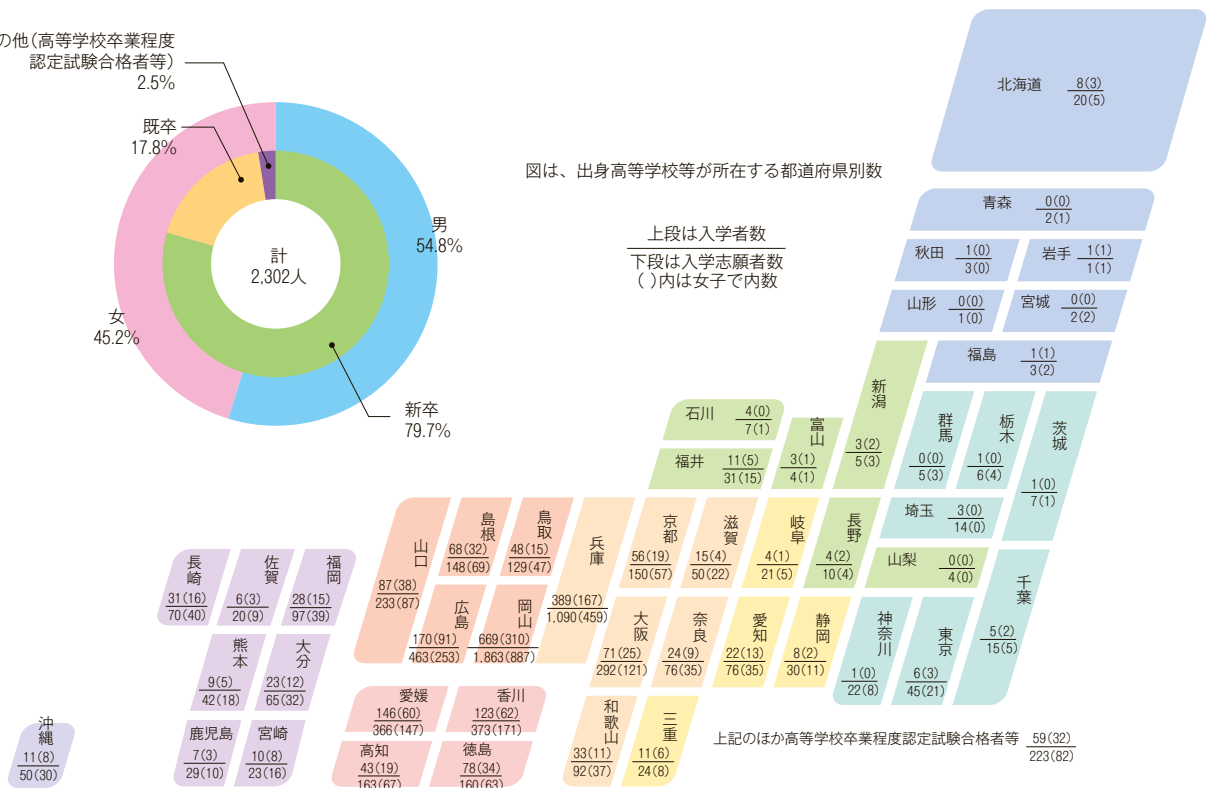
平成30年度

区 分		入学定員	志願者数		入学者数		入学者の出身地別（百分比）	
			男	女	男	女	県内	県外
文学部		175	206	421	45	131	22.7	77.3
教育学部		280	199	423	86	191	44.8	55.2
法学部	法学科（昼間コース）	205	365	267	118	93	28.9	71.1
	法学科（夜間主コース）	20	70	49	11	10	71.4	28.6
経済学部	経済学科（昼間コース）	205	442	225	124	84	24.0	76.0
	経済学科（夜間主コース）	40	82	62	20	23	65.1	34.9
理学部		140	299	83	116	33	21.5	78.5
医学部	医学科	112	227	153	68	44	32.1	67.9
	保健学科	160	96	400	24	134	24.1	75.9
歯学部		48	89	130	15	33	33.3	66.7
薬学部	薬学科	40	83	181	13	28	17.1	82.9
	創薬科学科	40	83	60	25	16	19.5	80.5
工学部		460	976	167	403	71	29.3	70.7
環境理工学部		150	277	77	124	32	26.9	73.1
農学部		120	133	153	53	72	14.4	85.6
グローバル・ディスカバリー・プログラム	（平成29年10月入学）		45	37	12	19	0.0	100.0
	（平成30年4月入学）		19	46	5	26	48.4	51.6
合計		2,195	3,691	2,934	1,262	1,040	29.1	70.9
			6,625		2,302			



図は、出身高等学校等が所在する都道府県別数

上段は入学者数
下段は入学志願者数
()内は女子で内数



卒業生進路（修了者就職状況）

大学院

平成30年5月1日現在

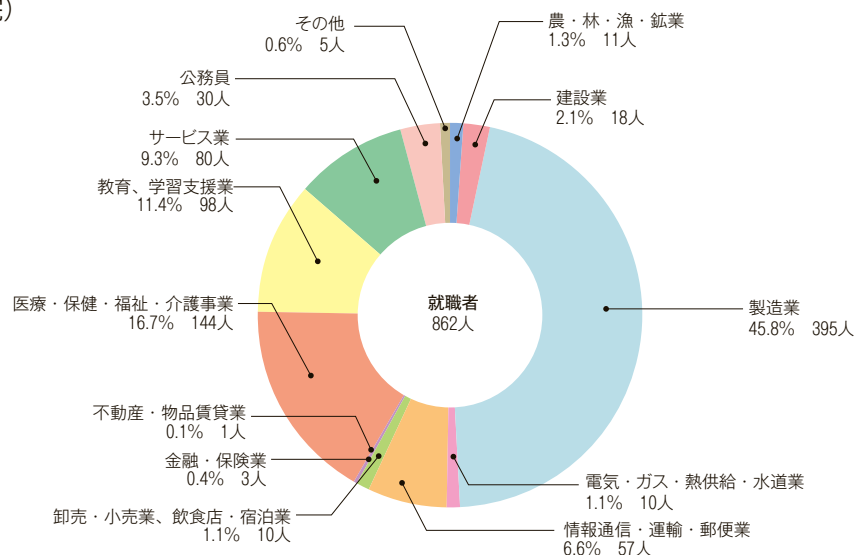
区 分	修了者数	進学者数	就職者数	産業別就職者数																			
				農林漁鉱業	建設業	製造業	水道業	電気ガス熱供給	情報通信・運輸郵便業	宿泊業	卸売小売業・飲食店・金融保険業	不動産・物品賃貸業	医療・保健・福祉・介護事業	教育、学習支援業						サービス業	国家公務	地方公務	その他
														小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	幼稚園	特別支援学校				
■修士課程・博士前期課程																							
教育学研究科	57 (31)	3 (1)	43 (25)			2 (1)		3 (1)	1 (1)			7 (7)	9 (3)	5 (4)	5 (2)		1 (1)	2	4 (3)			4 (2)	
社会文化科学研究科	60 (32)	6 (3)	30 (12)		1 (4)	10 (4)		1 (1)	3 (2)	1					1 (1)				3 (2)	1		5 (2)	4
自然科学研究科	428 (52)	24 (2)	397 (49)	1 (1)	4 (36)	298 (36)	8 (5)	46 (5)	3 (1)	1		2 (2)		2	1 (1)				1 (1)	26 (3)		4	
保健学研究科	30 (25)	2 (1)	27 (23)			1 (1)			1 (1)			25 (21)											
環境生命科学研究科	141 (49)	14 (6)	116 (35)	2 (1)	3 (18)	59 (18)	2	5			1 (1)	2			1				1 (1)	25 (9)	1	14 (5)	
医歯薬学総合研究科	51 (17)	9 (3)	38 (12)	7 (2)		19 (5)		1 (1)				5 (2)								5 (2)		1	
小計	767 (206)	58 (16)	651 (156)	10 (4)	8 (0)	389 (65)	10 (0)	56 (8)	8 (4)	2 (0)	1 (0)	41 (32)	9 (3)	7 (4)	8 (4)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	9 (7)	57 (14)	1 (0)	28 (9)	4 (0)
■博士課程・博士後期課程																							
社会文化科学研究科	7 (5)	1 (1)																					
自然科学研究科	37 (8)		28 (5)		7 (1)			1	1											15 (4)	4		
自然科学研究科 5年一貫制	3 (1)		1																	1			
保健学研究科	16 (10)	1 (1)	14 (8)									5 (1)								8 (6)	1 (1)		
環境生命科学研究科	50 (15)		37 (6)	1	3	4			1											13 (4)	14 (2)	1	
医歯薬学総合研究科	128 (40)	1	114 (33)			2						98 (29)								9 (4)	4		1
小計	241 (79)	3 (2)	194 (52)	1 (0)	10 (1)	6 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	103 (30)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	46 (18)	23 (3)	1 (0)	0 (0)
■専門職学位課程																							
教育学研究科	20 (7)		17 (5)							1			6 (3)	5 (1)	4 (1)			1					
法務研究科	17 (6)																						
小計	37 (13)	0 (0)	17 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (3)	5 (1)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	1,045 (298)	61 (18)	862 (213)	11 (4)	18 (1)	395 (65)	10 (0)	57 (8)	10 (4)	3 (0)	1 (0)	144 (62)	15 (6)	12 (5)	12 (5)	0 (0)	1 (1)	3 (0)	55 (25)	80 (17)	2 (0)	28 (9)	5 (0)
■後期3年のみの博士課程																							
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	3 (1)		2 (1)																	2 (1)			

※（ ）内は、女子を内数で示す。

※修了者数には単位修得満期退学者を含む。

※兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学（指導教員）に属する学生の卒業生数である。

産業別就職状況（大学院）



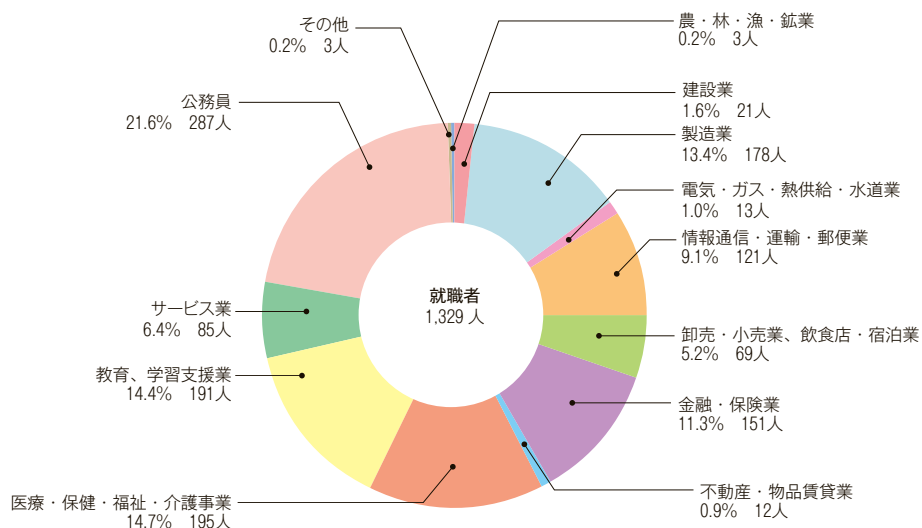
学部

平成30年5月1日現在

区 分	卒業 者数	進 学 者 数	就 職 者 数	産業別就職者数																		
				農・林・漁・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信・運輸・郵便業	卸売・小売業、飲食店・宿泊業	金融・保険業	不動産・物品賃貸業	医療・保健・福祉・介護事業	教育、学習支援業						サービス業	国家公務	地方公務	その他
													小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	幼稚園	特別支援学校				
文学部	177 (132)	11 (6)	152 (116)			14 (14)	1 (1)	19 (13)	17 (14)	25 (22)	3 (2)	1 (1)			2 (1)	5 (3)			7 (5)	7 (5)	18 (9)	33 (26)
教育学部	288 (172)	35 (14)	235 (152)		2 (2)	7 (7)		11 (8)	7 (5)	16 (9)	1 (1)	14 (11)	90 (60)	25 (16)	12 (6)		4 (3)	12 (11)	12 (9)	8 (7)	2 (3)	11 (1)
法学部 (昼間コース)	190 (96)	25 (11)	150 (78)		1 (1)	9 (1)	3 (1)	12 (6)	5 (1)	20 (9)	1 (1)	2 (1)						4 (2)	11 (9)	35 (21)	47 (27)	
法学部 (夜間主コース)	21 (9)		15 (7)			3 (3)		1 (1)	1 (1)	3 (1)		1 (1)							3 (1)			3 (1)
経済学部 (昼間コース)	209 (79)		191 (74)		4 (2)	22 (7)	4 (1)	20 (7)	7 (2)	57 (24)	6 (2)	1 (1)						4 (3)	21 (10)	18 (5)	27 (11)	
経済学部 (夜間主コース)	36 (21)	1 (1)	33 (19)			4 (3)		5 (4)	4 (6)	9 (6)		3 (2)							5 (3)	1 (1)	2 (1)	
理学部	156 (33)	102 (17)	46 (15)	1		8 (5)	1 (1)	8 (1)	3 (2)	6 (2)				1 (1)	6 (1)			1 (1)	1 (1)	5 (1)	5 (1)	
医学部医学科	112 (32)																					
医学部保健学科	179 (142)	14 (8)	155 (127)					1 (1)	1 (1)			152 (124)										1 (1)
歯学部	49 (33)																					
薬学部薬学科	39 (27)		39 (27)			7 (4)			13 (9)			17 (14)									2	
薬学部創薬科学科	39 (20)	34 (15)	5 (5)					1 (1)	1 (1)	1 (1)		1 (1)										1 (1)
工学部	501 (77)	352 (37)	146 (40)	2 (1)	5 (1)	73 (20)	2 (1)	25 (5)	2 (2)	3 (2)	1 (1)	1 (1)						1 (1)	16 (5)	6 (3)	7 (2)	
環境理工学部	149 (30)	59 (9)	89 (21)		8 (2)	10 (2)	1 (1)	11 (1)	4 (1)	1 (1)					1				8 (3)	9 (2)	36 (10)	
農学部	123 (64)	59 (28)	59 (33)			17 (12)	1 (1)	6 (3)	3 (2)	6 (3)		2 (2)			2				1 (1)	5 (2)	2 (1)	14 (8)
マッチング プログラムコース	17 (11)	3 (3)	14 (8)		1 (1)	4 (3)		1 (1)	1 (1)	4 (1)									1 (1)			2 (1)
合計	2,285 (978)	695 (149)	1,329 (722)	3 (1)	21 (7)	178 (76)	13 (4)	121 (50)	69 (40)	151 (80)	12 (5)	195 (157)	90 (60)	28 (18)	26 (10)	0 (0)	4 (3)	12 (11)	31 (20)	85 (45)	98 (42)	189 (92)
																						3 (1)

注：() 内は、女子を内数で示す。

産業別就職状況（学部）



専攻科・別科

平成30年5月1日現在

区 分	修了者数	進学者数	就職状況			その他
			民間企業	教員	公務員	
特別支援教育特別専攻科	8			7		1
養護教諭特別別科	32	3	3	19		7

奨学生数

大学院

平成30年5月1日現在

区 分	日本学生支援機構		地方公共団体・その他	計
	第一種貸与	第二種貸与		
研究科				
■修士課程・博士前期課程				
教育学研究科	8	1		9
社会文化科学研究科	10			10
自然科学研究科	220	32	3	255
保健学研究科	5			5
環境生命科学研究科	64	1	1	66
医歯薬学総合研究科	12	2		14
ヘルスシステム統合科学研究科				0
■博士課程・博士後期課程				
社会文化科学研究科	1			1
自然科学研究科	12		2	14
保健学研究科	1			1
環境生命科学研究科	4			4
医歯薬学総合研究科	27	1	1	29
ヘルスシステム統合科学研究科				0
■専門職学位課程				
法務研究科	11	3	10	24
合計	375	40	17	432

※新入生を除く

学部

平成30年5月1日現在

区 分	日本学生支援機構			地方公共団体・その他	計
	第一種貸与	第二種貸与	給 付		
学部					
文学部	152	66	2	4	224
教育学部	201	108	3	5	317
法学部	157	88	1	5	251
法学部	18	10	1		29
経済学部	160	96	1	6	263
経済学部	44	12		1	57
理学部	81	74	1	3	159
医学部	58	63		6	127
医学部	126	83		4	213
歯学部	25	25		1	51
薬学部	44	30	1	6	81
薬学部	21	13	1	2	37
工学部	310	220	3	9	542
環境理工学部	75	66	1	2	144
農学部	68	37	1	4	110
マッチングプログラムコース	14	6		1	21
グローバル・ディスカバリー・プログラム	2	2	1		5
合計	1,556	999	17	59	2,631

※新入生を除く

学位授与者数

平成30年3月25日現在

種 類	修 士	博 士		専門職学位	旧制博士
		課程修了	論文提出		
文 化 科 学	36	15	2		
公 共 政 策 学	36				
学 術 学	154	648	85		
文 学	1,255	83	7		
教 育 学	2,260				
法 学	443	21	6		
経 済 学	376	35	2		
経 営 学	139				
理 学	3,157	348	65		
医 学		2,649	3,821		2,461
医 科 生 学	280				
公 衆 衛 生 学	8				
看 護 学	171	14			
保 健 学	222	67	6		
歯 学		587	93		
歯 科 学	32				
薬 学	1,566	272	138		
薬 科 学	239	13	6		
工 学	8,644	612	153		
環 境 理 工 学	484	13	2		
環 境 学	1,028	108	3		
農 学	2,558	290	102		
教 職 修 士				188	
法 務 博 士				366	
合 計	23,088	5,775	4,491	554	2,461

※学士を除く。

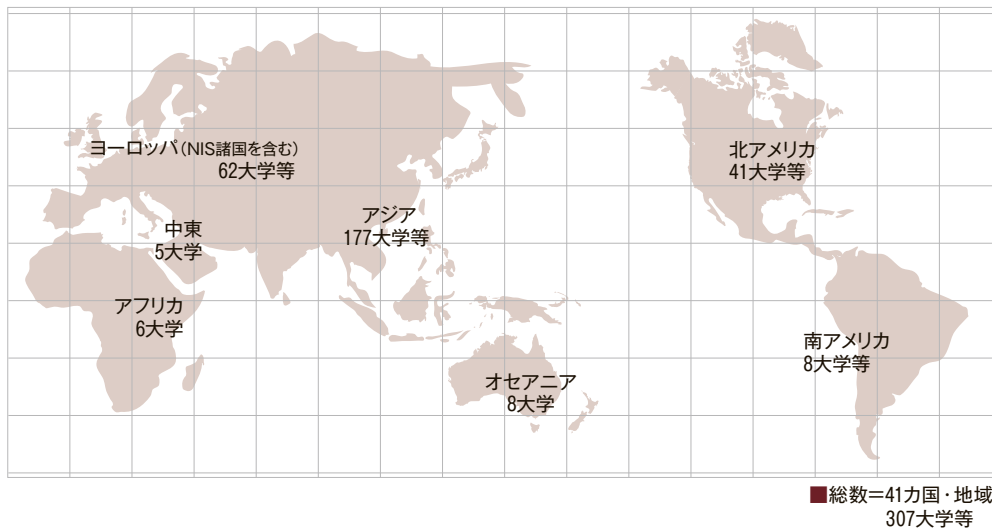
岡山大学病院病床数及び患者数

平成29年度

区 分	病床数	1 日 平 均	
		入院患者数	外来患者数
医 科	834	688	2,087
歯 科	21	21	675
合 計	855	709	2,762

協定大学等分布

平成30年5月1日現在



協定一覧

大学間協定156件

国・地域名	大学等名
インドネシア	ボゴール農科大学、ハサヌディン大学、ガジャマダ大学、アンタラス大学、インドネシア大学
カンボジア	カンボジア国立教育大学、王立ブノンベン大学、カンボジア王国労働・職業訓練省労働安全衛生部門
タイ	マヒドン大学、メージョー大学、カセサート大学、チュラロンコン大学、プリンスオブソクラ大学、チェンマイ大学、タマサート大学
台湾	国立台湾大学、国立台北科技大学、開南大学、国立中興大学、輔仁大学、長庚大学、国立高雄大学、高雄医学大学
大韓民国	光州科学技術院、成均館大学校、高麗大学校、江原大学校、全南大学校
大韓民国・中華人民共和国	上海中医薬大学・圓光大学校※1
中華人民共和国	東北師範大学、内モンゴル農業大学、鄭州大学、北京航空航天大学、中国科学院昆明植物研究所、大連工業大学、遼寧科技大学、同済大学、中国医科大学、ハルビン医科大学、大連医科大学、吉林大学、北京信息科技大学、上海理工大学、河南科技大学、内蒙古大学、首都師範大学、長春理工大学、陝西師範大学、ハルビン工程大学、華東政法大学、延辺大学、中山大学、吉林華橋外国語学院、南方医科大学、北京外国語大学、河北医科大学、中国政法大学、東北大学、天津市中心婦産科医院、浙江工業大学、浙江工商大学
バングラデシュ	バングラデシュ農科大学
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学、サン・カルロス大学
ベトナム	ダラット大学、フエ大学、ハノイ工科大学、ベトナム国家大学ハノイ、ハイフォン医科薬科大学、ノンラム大学
マレーシア	マレーシア工科大学、マラヤ大学、マレーシアプトラ大学
ミャンマー	ミャンマー国保健省医科学局及び医学研究局、マンダレー工科大学、ヤンゴン工科大学、ヤンゴン看護大学、ヤンゴン第一医科大学、パテイン大学、ヤンゴン第二医科大学、ミャンマー国保健省食品医薬品局
モンゴル	モンゴル国立農業大学、モンゴル国立大学
トルコ	カラデニズ工科大学、エーゲ大学、トルグットオザル大学、ジルベ大学
ウガンダ	マケレレ大学
エジプト	カイロ大学
ガーナ	ガーナ大学
ケニア	ジョモケニアアツタ農工大学
オーストラリア	サウスオーストラリア大学、アデレード大学、ウエスタンオーストラリア大学、サザンクロス大学、スウィンバーン工科大学
アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学、カリフォルニア州立大学イーストベイ校、カンザス大学、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校、カリフォルニア州立大学フラトン校、南オレゴン大学、メリーランド大学ボルチモア校、アリゾナ州立大学、グアム大学、カリフォルニア州立大学モントレイベイ校、ハワイ大学マノア校、ピッツバーグ大学、チャタム大学、アラバカン州立大学、ノーザンアイオワ大学、ウエイン州立大学、ポートランド州立大学、ミズーリ大学、ダラスバプティスト大学、ウィチタ州立大学、ノースカロライナ大学グリーンズボロ校、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校、ロードアイランド大学
カナダ	アルバータ大学、ビショップス大学、カールトン大学、ケベック先端科学技術大学院大学 (INRS)、プリティッシュコロンビア大学
ブラジル	リオデジャネイロ州立大学、パウリスタ大学、サンパウロ大学
イタリア	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学、ローマ・ラ・サピエンツァ大学、トリノ大学
英国	シェフィールド大学、カーディフ大学、エジンバラ大学、イースト・アングリア大学、ヨーク・セントジョン大学、サリー大学、ケント大学
オーストリア	国際原子力機関
オランダ	ユトレヒト大学カレッジ
スペイン	ムルシア大学
セルビア	ノヴィサド大学、ベオグラード大学
ドイツ	ハノーファー大学、ドレスデン工科大学
フランス	ピエール・マリキュリー大学、ストラスブール大学、ボルドーモンテーニュ大学、グルノーブル大学連合、西ブルターニュ大学、クレルモン・オーベルニュ大学、トゥールーズ第3ポール・サバティエ大学、ボワティエ大学、トゥールーズ国立工科大学
ポーランド	アダム・ミツキエヴィチ大学
ポルトガル	リスボン大学

注：※1印は、3大学間協定であることを示す。

協定一覧

部局間協定151件

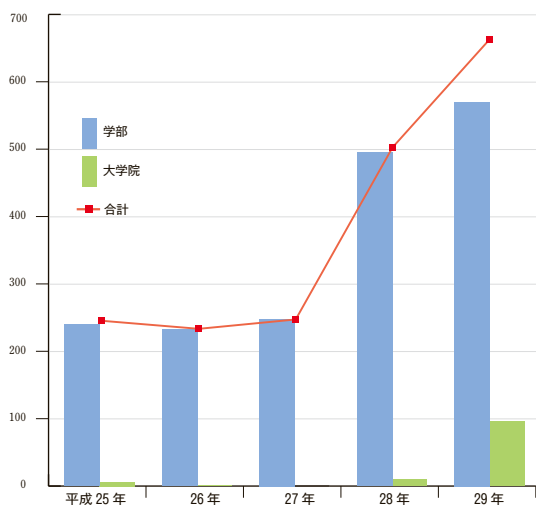
国・地域名	大学等名
社会文化科学研究科	
台湾	淡江大学国際研究学院日本政経研究所、国立嘉義大学人文芸術学院、政治大学法学院、国立中正大学社会科学院及び法学院※2
大韓民国	国民大学校社会科学大学国際学部
中華人民共和国	上海社会科学院部門経済研究所、浙江大学経済学院、復旦大学中国語文学系、山東大学韓国学院、吉林省社会科学院、上海海事大学法学院、蘭州大学外国語学院及び文学院
トルコ	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学社会科学研究所
スペイン	サラマンカ大学
ドイツ	ベルリン自由大学歴史・文化学部
自然科学研究科	
インド	スリ・ラマサミー・メモリアル大学科学人文学部
インドネシア	スラバヤ工科大学、スラバヤ電子工学ポリテクニク、プラウィジャヤ大学理学部、インドネシア原子力庁・アイソトープ放射線利用センター
タイ	スワンスナター・ラチャバット大学理工学部
台湾	国立台湾師範大学工学部
大韓民国	漢陽大学工学部、昌原大学校メカトロニクス大学、群山大学校産学融合工科大学及び工科大学、昌原大学校一般大学院
中華人民共和国	浙江大学材料及び化学工程学院、西安交通大学、中国科学院上海有機化学研究所、北京大学医学部、中国科学院大連化学物理研究所、中国人民大学化学科、香港中文大学理学院化学科、中国科学院福建物質構造研究所、廈門大学材料学院、北京大学生命科学学院、中国科学院北京植物研究所
エジプト	サウスバレー大学、エルメノフェイア大学理学部
カナダ	サスカチュワン大学文理学部
アメリカ合衆国	バーデュー大学理学部
イタリア	マルシェ科学技術大学工学部、フェデリコⅡ世・ナポリ大学物理学科
スペイン	ジローナ大学理学部
チェコ	カレル大学理学部
デンマーク	コペンハーゲン大学理学部
ドイツ	ミュンスター大学生物学部
フランス	パリ・サクレ大学エコール・ポリテクニク校
ブルガリア	ソフィア大学化学及び薬学部
ポーランド	ポーランド科学アカデミー物理学研究所
ロシア	ロシア連邦国立科学センター生物医学研究所
保健学研究科	
タイ	シーマハサラカム看護大学
環境生命科学研究所	
インドネシア	スマトラウタラ大学大学院天然資源環境管理研究科、バンドゥン工科大学土木環境工学部
タイ	ブラバー大学理学部
大韓民国	韓国産業技術大学知識技術・エネルギー研究科、檀国大学校工科大学
中華人民共和国	河北農業大学林学院、華中農業大学経済管理・土地管理学院
バングラデシュ	パツアカリ科学技術大学畜産獣医学部
ベトナム	フエ農林大学、ハノイ土木大学・環境理工学研究所、ホーチミン市経済大学経済学部、タナン工科大学、ドンナイ省科学技術局、アンジャン大学
アメリカ合衆国	アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター
カナダ	プリテッシュコロンビア大学森林学部
イタリア	テラモ大学獣医学部
ポーランド	グダニスク工科大学土木環境工学部
医歯薬学総合研究科	
インドネシア	ウダヤナ大学医学部
タイ	コンケン大学医学部
大韓民国	東国大学校慶州キャンパスバイオ融合研究院、建国大学KUオーブンイノベーションセンターBK21プラスプログラム
アメリカ合衆国	ミシガン大学医学部
イタリア	ラクイラ大学医学部
フランス	パリ神経科学大学院
文学部	
中華人民共和国	山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、蘭州大学外国語学院及び文学院
ドイツ	ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学
ロシア	国立アカデミー人文大学
教育学部	
オーストラリア	キャンベラ大学

国・地域名	大学等名
法学部	
台湾	国立中正大学社会科学院及び法学院※2
中華人民共和国	北京大学法学院
経済学部	
中華人民共和国	中央財経大学経済学院
ルーマニア	ブカレスト大学行政及び経営管理学部
理学部	
インド	ハイデラバード大学生命科学学部
中華人民共和国	北京大学化学及び分子工程学院
タイ	スワンスナター・ラチャバット大学理工学部
アメリカ合衆国	ノートルダム大学理学部
ドイツ	コンスタンツ大学化学部
ポーランド	クラコフ工科大学
医学部	
大韓民国	慶尚大学校医科大学
中華人民共和国	中国医学科学院北京協和医学院、南昌大学医学院
ハンガリー	デブレツェン大学医学部
歯学部	
インド	ニッテ大学歯学部（ABSM 歯学研究科）
台湾	台北医学大学口腔医学院
大韓民国	ソウル大学歯学部
中華人民共和国	南昌大学医学院、北京大学口腔医学院、大連医科大学口腔医学院、香港大学歯学部
モンゴル	モンゴル医科大学歯学部
フィリピン	サウスウェスタン大学歯学部
ベトナム	ハノイ医科大学歯学部
ミャンマー	ヤンゴン歯科医学大学、マンダレー歯科医学大学
オーストラリア	チャールズ・スタート大学歯学部
ニュージーランド	オタゴ大学歯学部
ブラジル	サンパウロ大学歯学部、サンパウロ大学リベランプレット歯学部、イビラプエラ大学歯学部
チリ	フィニステラエ大学歯学部、チリ大学歯学部
アメリカ合衆国	ワシントン大学歯学部、オハイオ州立大学歯学部
カナダ	サスカチュワン大学歯学部、プリティッシュコロンビア大学歯学部
英国	グラスゴー大学歯学部
ギリシャ	テッサロニキアリストテレス大学歯学部
薬学部	
台湾	台北医学大学薬学部、台中榮民総合病院
大韓民国	梨花女子大学校薬学大学
工学部	
大韓民国	済州大学校工科大学、忠北国立大学電子・計算機工学部
中華人民共和国	上海交通大学機械・動力工程学院、四川大学化学学院、同済大学機械工学部
バングラデシュ	クルナ大学科学工学技術学校
アメリカ合衆国	ミズーリ大学ローラ校工学部
イタリア	ローマ第3大学工学部
フィンランド	タンペレ工科大学、フィンランド工業技術研究所
ポルトガル	ポルト大学工学部
ルーマニア	ベトルボニ高分子化学研究所
環境理工学部	
台湾	国立東華大学管理学院
カナダ	サスカチュワン大学工学部
農学部	
インドネシア	サム・ラチュランギ大学、ウダヤナ大学畜産学部、スリビジャヤ大学農学部
中華人民共和国	浙江大学農業生物技術学院、大連大学生物工程学院
資源植物科学研究科	
タイ	ブラバー大学理学部
ロシア	ロシア連邦国立科学センター生物医学研究所、カザン大学基礎医学生物学研究所
惑星物質研究所	
アメリカ合衆国	リーハイ大学地球環境科学科
異分野基礎科学研究科	
イタリア	マルシェ科学技術大学工学部、フェデリコⅡ世・ナポリ大学物理学科
ポーランド	ポーランド科学アカデミー物理学研究所
カナダ	サスカチュワン大学文理学部
岡山大学病院	
台湾	台中榮民総合病院
ベトナム	循環器センターE病院
ミャンマー	ビクトリア病院
グローバル・パートナーズ	
中華人民共和国	青島科技大学国際交流与合作処、大連海事大学外国語学院、江蘇理工学院外国語学部
オランダ	ライデン大学人文学部

注：※2印は、4部局間協定であることを示す。

海外留学学者数の推移

留学経験者数（日本人学生）の推移



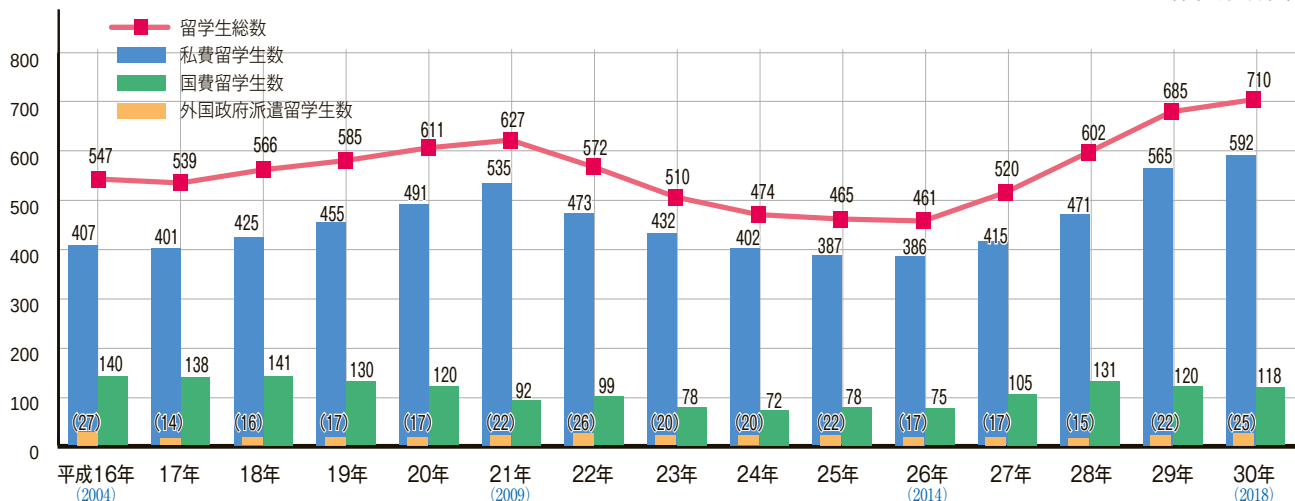
注：スーパーグローバル大学創成支援事業の実績値より。

国別・期間別内訳

		平成29年度		
区分		6ヶ月未満	6ヶ月以上	合計
アジア	インドネシア	4		4
	カンボジア	45		45
	シンガポール	73		73
	タイ	64		64
	ベトナム	6		6
	マレーシア	14	1	15
	ミャンマー	13		13
	韓国	35		35
	台湾	93		93
	中国	70	1	71
計		417	2	419
オセアニア	オーストラリア	33	5	38
	ニュージーランド	1		1
計		34	5	39
北米	カナダ	21	3	24
	米国	72	18	90
計		93	21	114
中南米	チリ	2		2
	メキシコ	2		2
計		4		4
ヨーロッパ	アイルランド	39		39
	オーストリア	2		2
	スイス	2		2
	スペイン	4		4
	チェコ	1		1
	ドイツ	5	2	7
	フィンランド	1		1
	フランス	15		15
	ポーランド	1		1
	ロシア		1	1
	英国	12	4	16
	計	82	7	89
中東	トルコ	1		1
	計	1		1
合計		631	35	666

外国人留学生数の推移

各年5月1日現在



注1：私費留学生数には外国政府派遣留学生（文部科学省を経由して受け入れを行った者）を含む。

注2：留学生数には兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の外国人留学生で、構成大学である岡山大学（指導教員）に属する者を含む。

国籍・地域別・在籍身分別

平成30年5月1日現在

区分		大学院生		学部 学生	研究生・ その他	計
		博士 課程	修士 課程			
アジア	中国	107	134	34	95	370
	ベトナム	32	11	3		46
	韓国	4	4	27	7	42
	ミャンマー	23		1	3	27
	インドネシア	16	2	5	2	25
	バングラデシュ	18	3			21
	マレーシア	3		18		21
	台湾	2	4	1	13	20
	インド	6			1	7
	タイ	1	1	2	2	6
	カンボジア	1	2		1	4
	パキスタン	3				3
	ネパール	1				1
	スリランカ			1		1
	モンゴル		1			1
	ラオス	1				1
	小計	218	162	92	124	596
中東	トルコ	3	1		2	6
	アフガニスタン	1	2			3
	イラン	1	1			2
	シリア				2	2
	ヨルダン	1				1
	パレスチナ (PLO)	1				1
	小計	7	4		4	15
アフリカ	ケニア	6	1		1	8
	エジプト	7				7
	ガーナ	2		1		3
	チュニジア				1	1
	アルジェリア	1				1
	タンザニア	1				1
	ナイジェリア	1				1
	モロッコ				1	1
	エチオピア				1	1
	ウガンダ		1			1
	マラウイ				1	1
小計	18	2	1	5	26	

区分	大学院生		学部 学生	研究生・ その他	計	
	博士 課程	修士 課程				
オセアニア	フィジー	2			2	
	トンガ	1	1		2	
	オーストラリア			1	1	
	ソロモン諸島		1		1	
	バヌアツ		1		1	
	小計	1	5		1	7
北米	アメリカ合衆国			1	13	14
	カナダ			2		2
	小計			3	13	16
中南米	パラグアイ				1	1
	小計				1	1
ヨーロッパ (NIS 諸国を含む)	フランス	1			19	20
	英国				8	8
	ドイツ	1			7	8
	スペイン			1	3	4
	ロシア			1	2	3
	イタリア				1	1
	ルーマニア	1				1
	リトアニア			1		1
	スロバキア				1	1
	ウズベキスタン	1				1
	カザフスタン			1		1
	小計	4		4	41	49
合計	248	173	100	189	710	

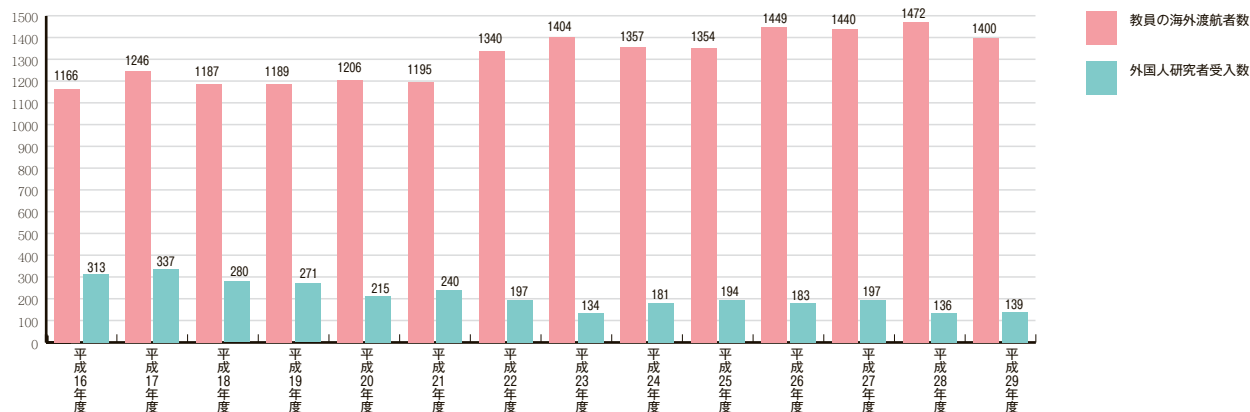
経費別・在籍身分別

平成30年5月1日現在

経費区分		大学院生		学部学生	研究生・その他	計
		博士課程	修士課程			
国費	大使館推薦	10	2		10	22
	大学推薦	72	7	2	4	85
	日韓共同理工系学部留学生 (日本政府)			11		11
	小計	82	9	13	14	118
私費	マレーシア政府派遣			15		15
	日韓共同理工系学部留学生 (韓国政府)			10		10
	自費	166	164	62	175	567
	小計	166	164	87	175	592
合計		248	173	100	189	710

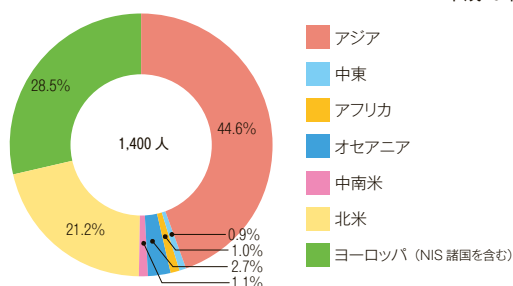
教員の海外渡航者数及び外国人研究者受入状況

教員の海外渡航者数及び外国人研究者受入数の推移

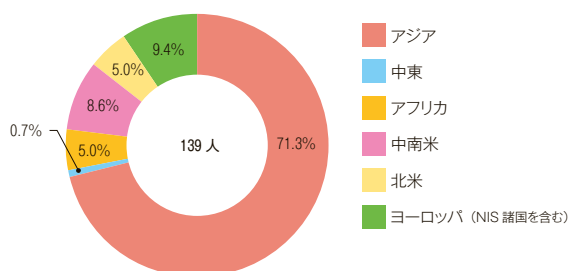


地域別教員の海外渡航者数

平成29年度



地域別外国人研究者受入数



地域・国別教員の海外渡航者数及び外国人研究者受入数

平成29年度

区 分		渡航数 (人)	受入数 (人)
アジア	中国	162	40
	韓国	112	2
	ベトナム	69	5
	台湾	57	1
	ミャンマー	52	16
	シンガポール	46	3
	その他	127	32
	計	625	99
中東		13	1
	計	13	1
アフリカ		14	7
	計	14	7
オセアニア	オーストラリア	22	
	その他	16	
	計	38	
中南米		15	12
	計	15	12
北米	アメリカ	267	6
	カナダ	30	1
	計	297	7
ヨーロッパ (NIS 諸国を含む)	【EU加盟国】		
	フランス	71	3
	ドイツ	55	2
	英国	39	4
	イタリア	38	
	スペイン	36	3
	オーストリア	27	
	その他	106	1
	【その他のヨーロッパ】		
	スイス	17	
	ロシア	3	
	その他	6	
	計	398	13
	合計	1,400	139

決算／予算

平成29事業年度決算

貸借対照表

平成30年3月31日
(単位：百万円)

科 目	金額
資産の部	
I. 固定資産	
1. 有形固定資産	116,550
2. 無形固定資産	520
3. 投資その他の資産	1,637
固定資産合計	118,708
II. 流動資産	
現金及び預金	11,130
未収収入	6,342
その他の流動資産	280
流動資産合計	17,753
資 産 合 計	136,461

科 目	金額
負債の部	
I. 固定負債	39,163
II. 流動負債	16,662
負債合計	55,825
純資産の部	
I. 資本金	69,804
II. 資本剰余金	4,473
III. 利益剰余金	6,357
純資産合計	80,636
負債純資産合計	136,461

損益計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位：百万円)

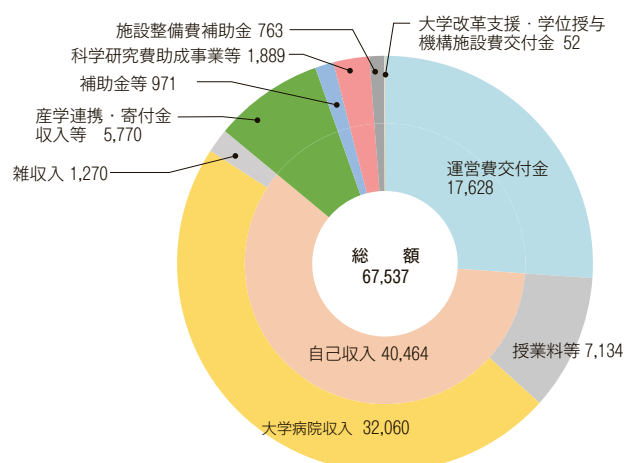
科 目	金額
経常費用	67,598
業務費	65,958
一般管理費	1,424
その他の費用	215
経常収益	68,304
運営費交付金収益	18,671
学生納付金収益	7,713
附属病院収益	32,707
その他の収益	9,211
経常利益	705
臨時損失	48
臨時利益	19
当期純利益	676
目的積立金取崩額	150
当期総利益	827

※金額の単位は、百万円未満を切り捨てて記載しています。
※文部科学大臣の承認を受けるまでは、金額等の変更が生じることがあります。

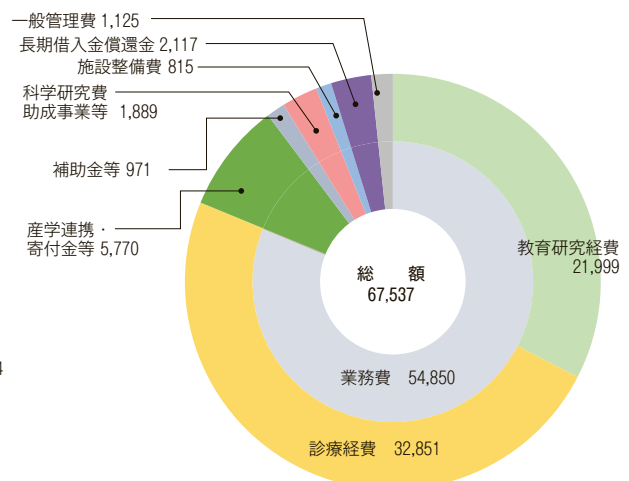
平成30年度予算

(単位：百万円)

収 入



支 出



科学研究費助成事業

【平成30年度採択状況】

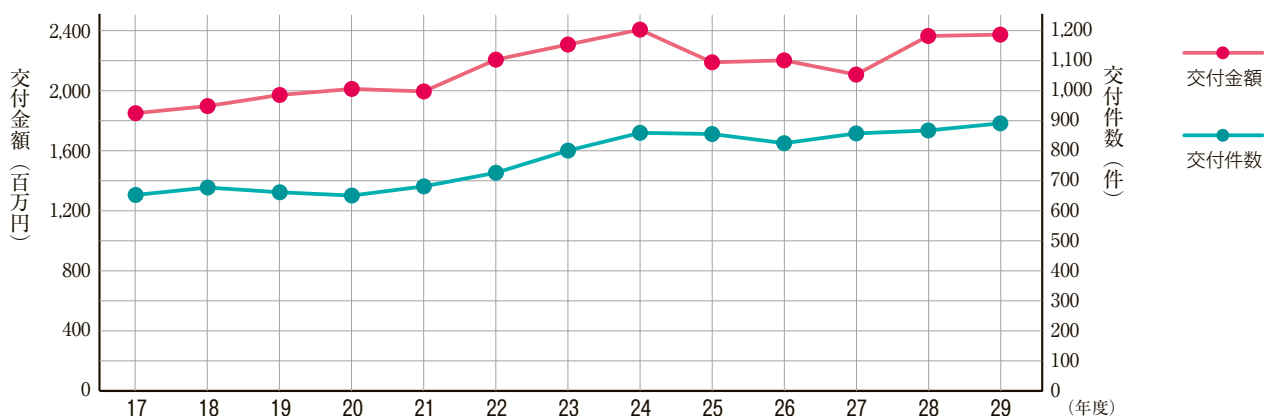
平成30年5月31日現在

研究種目	採択件数	配分額（単位：千円）
特別推進研究	1	101,400
基盤研究（S）	1	24,830
基盤研究（A）	14	119,340
基盤研究（B）	99	482,300
基盤研究（C）	449	622,440
挑戦的萌芽研究	17	17,160
挑戦的研究（萌芽）	24	59,670
若手研究（A）	7	31,720
若手研究（B）	107	130,000
若手研究	70	111,410
研究活動スタート支援	10	12,258
特別研究員奨励費	25	25,150
新学術領域研究（研究領域提案型）	27	321,295
計	851	2,058,973

注：配分額には間接経費として措置された金額を含む。

【配分額及び採択件数の推移】

年度	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)	21 (2009)	22 (2010)	23 (2011)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)
交付金額 (単位：千円)	1,870,749	1,918,950	1,994,000	2,034,989	2,018,005	2,232,960	2,334,819	2,431,524	2,215,276	2,228,337	2,131,650	2,392,540	2,402,305
交付件数	657	682	666	655	686	732	807	867	863	832	865	875	899



外部資金受入状況

平成29年度

区 分	件数	受入額（単位：千円）
民間等との共同研究	319	404,989
受託研究	247	1,876,313
寄付金	2,385	1,510,025

共同研究講座

平成30年5月1日現在

部局名	講座名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学総合研究科	臨床的バイオバンクネットワークワーキング事業化研究講座	平成27年7月1日～平成31年6月30日	バイオバンク運用の効率化と品質担保及びバイオバンク事業化のための研究を行い、バイオバンクの自立化（事業化）のためのグランドデザインを構築する。
大学院医歯薬学総合研究科	臨床リンパ学講座	平成30年4月1日～平成32年3月31日	基礎及び臨床の双方からタイアップしてEBMに基づいたリンパ浮腫の診断・評価並びに治療方法を確立する。

寄付講座

平成30年5月1日現在

部局名	講座名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学総合研究科	運動器医療材料開発講座	平成19年4月1日～平成34年3月31日	運動器医療材料の開発や研究を行い、運動器医療の発展に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	先端循環器治療学講座	平成22年4月1日～平成31年3月31日	高度最先端循環器内科治療を地域のために普及させるため
大学院医歯薬学総合研究科	地域医療人材育成講座	平成22年5月1日～平成31年3月31日	将来の岡山県の地域医療を担う人材育成に関する研究を行うとともに、その研究成果の普及を行い、県民の健康・福祉の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器知能化システム開発(帝人ナカシマメディカル)講座	平成22年9月1日～平成32年3月31日	インプラントデバイスの高機能化及びコンピューターテクノロジーを応用した手術支援システムによる運動器の再構築を目指し、その基礎研究結果を早期に臨床応用するため
大学院医歯薬学総合研究科	CKD・CVD地域連携包括医療学講座	平成23年11月1日～平成31年10月31日	CVD（心血管疾患）の専門家である循環器内科との密接な協力によりCKD（慢性腎臓病）診療の発展と末期腎不全患者数増加の抑制、心血管疾患合併の予防に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	小児急性疾患学講座	平成25年4月1日～平成35年3月31日	福山・府中圏域における小児救急医療に関わる医師の育成及び効果的な医療提供体制に関する研究を行い、将来に亘り持続可能な小児救急医療体制を構築するため
大学院医歯薬学総合研究科	救急外傷治療学講座	平成26年11月1日～平成30年10月31日	外傷診療や災害時の外傷の諸課題に対応するために外傷診療システムの構築と外傷診療に精通した人材の教育・養成を行い、最適な外傷の救急医療体制を構築するため
大学院教育学研究科	国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座	平成27年10月1日～平成33年3月31日	地域の芸術・文化資源を活かした美術鑑賞手法の開発と実践教育、国吉康雄の作品及び画業と生き方の研究と顕彰、地域コミュニティと地域文化の発展に寄与する人材の育成のため
大学院医歯薬学総合研究科	医療資源開発・学習支援環境デザイン学講座	平成27年11月1日～平成30年10月31日	医療における教育現場と医療現場及び医療人材とその他の医療資源を革新的な学習法の研究・開発によってシームレスに繋ぐことで、より安心・安全な医療の提供を広く可能にするため
大学院医歯薬学総合研究科	陽子線治療学講座	平成27年12月1日～平成30年11月30日	陽子線治療の管理手法や治療成績を明らかにして癌治療成績の向上に寄与していくとともに、陽子線治療の認知・普及、人材育成、研究を進展させるため
大学院医歯薬学総合研究科	三朝地域医療支援寄付講座	平成28年1月1日～平成30年12月31日	三朝地域の医療機関における医療の質を維持・向上させ、最適な地域医療提供体制の整備・確立に寄与するとともに、地域医療を担う医師等の養成及び研修プログラムを開発するため
大学院医歯薬学総合研究科	血液浄化療法人材育成システム開発学講座	平成28年1月1日～平成30年12月31日	腎不全に対する治療法、特に血液透析を主体とする血液浄化療法に関する人材育成システムの開発について教育・研究を推進するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器外傷学講座	平成28年4月1日～平成32年3月31日	骨折疾患に対する多角的な現状調査、実際の治療を通じて新規治療法の研究開発、骨折に対する若手医師や指導医などへの教育を行うため
大学院医歯薬学総合研究科	地域救急・災害医療学講座	平成29年4月1日～平成32年3月31日	地域医療、救急医療、災害医療を総括して研究するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南東部(玉野)総合診療医学講座	平成29年4月1日～平成32年3月31日	医療過疎対策地域医療学分野の研究をより一層発展させ、地域社会へ貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南西部(笠岡)総合診療医学講座	平成29年4月1日～平成34年3月31日	総合医療など地域医療を担う医師等の養成及び現地ニーズに即した島しょ部医療に関する教育・研究を行い、地域医療の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	高齢者救急医療学講座	平成29年11月1日～平成34年10月31日	高齢化社会の進む井原市において、超高齢化医療過疎地域における適正な高齢者救急医療のあり方についての行政的課題に取り組むとともに、最適な地域医療体制（救急医療）の構築に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県北西部(新見)総合診療医学講座	平成30年4月1日～平成35年3月31日	地域医療・へき地医療における教育・研究を基盤とし、円滑で継続的な地域医療における医師の育成を支えるため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器スポーツ医学講座	平成30年4月1日～平成33年3月31日	スポーツに伴う運動器損傷に対する医療をスポーツ復帰に至るまで重点的に取り組み、スポーツ損傷の予防と治療に関する研究を行うことで選手の競技能力を向上させるため

土地・建物

平成30年5月1日現在

区分	土地(m ²)	建物		所在地
		建面積(m ²)	延面積(m ²)	
■津島地区	639,621			
大学本部		22,324	50,508	岡山市北区津島中一丁目1-1
情報統括センター		993	2,355	〃 三丁目1-1
グローバル・パートナーズ		3,674	10,011	〃 二丁目1-1
附属図書館		4,049	16,386	〃 三丁目1-1
文学部・法学部・経済学部		5,823	19,399	〃 〃
教育学部		7,471	21,194	〃 〃
理学部		5,738	17,901	〃 〃
薬学部		3,166	9,227	〃 一丁目1-1

区分	土地(m ²)	建物		所在地
		建面積(m ²)	延面積(m ²)	
工学部		11,719	32,351	岡山市北区津島中三丁目1-1
環境理工学部		1,506	11,200	〃 〃
農学部		6,191	15,494	岡山市北区津島中一丁目1-1
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター岡山農場		3,623	4,298	〃 津島桑の木町1-62
埋蔵文化財調査研究センター		315	484	〃 津島中三丁目1-1
大学院自然科学研究科		2,044	13,021	〃 〃
研究推進産学官連携機構		941	2,430	〃 〃
自然生命科学研究支援センター		1,876	4,751	岡山市北区津島中
保健管理センター		469	668	〃 二丁目1-1
環境管理センター		675	657	〃 三丁目1-1
■鹿田地区	135,328			
医学部、歯学部		19,893	80,067	岡山市北区鹿田町二丁目5-1
岡山大学病院		20,375	117,069	〃 〃
自然生命科学研究支援センター		1,997	8,098	〃 〃
保育所		420	420	〃 〃
■東山地区	53,428			
教師教育開発センター・ 教育学部附属幼稚園・小・中学校		9,513	15,624	岡山市中区東山二丁目13-80
■平井地区	13,188			
教育学部附属特別支援学校		3,261	4,553	岡山市中区平井三丁目914
■八浜地区	89,536			
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター八浜農場		655	655	玉野市東七区
■津高地区	312,484			
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター津高牧場		1,721	2,278	岡山市北区日応寺
■倉敷地区	38,536			
資源植物科学研究所		5,701	10,955	倉敷市中央二丁目20-1
■三朝地区	37,659			
惑星物質研究所		4,932	11,939	鳥取県東伯郡三朝町山田827
三朝ラドン熱気浴施設		182	323	鳥取県東伯郡三朝町三朝939
■牛窓地区	6,956			
理学部附属臨海実験所		1,271	1,504	瀬戸内市牛窓町鹿忍130-17
課外活動研修所		255	252	〃 〃
■芳賀地区	※(5,787)			
産学官融合センター		572	1,138	岡山市北区芳賀5302
■その他の地区				
半田山自然教育研究林	675,813			岡山市北区津島
吉備文化共同利用施設	2,104	344	344	岡山市北区吉備津1666
本島地区	22,764	433	537	香川県丸亀市本島町泊494
その他	4,653	366	603	
宿舍	32,467	7,396	31,872	
合計	2,064,537	161,884	520,566	

※() 無償借上

諸施設

大学会館

施設名	収容人数	面 積	所在地
正課外活動施設	532 人	1,005 m ²	岡山市北区津島中二丁目1-1
福利厚生施設	110	190	
管理施設		1,981	
合計	642	3,176	



交流広場

外国人留学生・研究員宿泊施設

施設名			収容人数	面 積	所在地
国際学生シェアハウス	単身者用（混住型）		120	2,310	岡山市北区津島桑の木町6-2
	※日本人1人、外国人留学生3人の計4人が1ユニットで計30ユニット（男女別）				
国際交流会館	留学生宿舍	単身者用	34 ※うち8室は相部屋（2名1室）	2,167	岡山市北区津島中三丁目1-1
		世帯用	12		
	研究者宿舍	長期単身者用	3		
		短期単身者用	30		
桑の木留学生宿舍	北 棟	単身者用	51 ※うち1室はバリアフリー室	1,455	岡山市北区津島桑の木町6-1
	南 棟	単身者用	100	3,324	
福居留学生宿舍		単身者用	21	825	岡山市北区津島福居二丁目10-4

本学には、国際学生シェアハウス・国際交流会館・桑の木留学生宿舍・福居留学生宿舍の4つの外国人留学生・研究員宿泊施設がある。これらは、本学の外国人留学生及び本学で研究に従事する外国人研究者に居住の場を提供し、併せて国際交流の促進に資することを目的として設置されている。国際学生シェアハウスは、外国人留学生と日本人学生に居住の場を提供するとともに、日常生活を通じて異国の言語や文化、生活習慣に接することで国際感覚を身につけたグローバル人材の育成を目的として、平成28年3月に新しく整備された。各個人の私室を確保しつつ、4人が1つのユニットとして共同生活を送る形態となっており、入寮者同士が自然と交流できる仕様になっている。いずれの宿泊施設も、大学の中心である津島地区に近く、便利な地に位置しており、居住している留学生や研究員は快適な住環境のもと、充実した勉学・研究生活を送っている。



国際学生シェアハウス

学生寮

施設名	収容人数	面 積	所在地
女子学生寮	108 人	2,024 m ²	岡山市北区津島桑の木町6-2

創立五十周年記念館

施設名	収容人数	面 積	所在地
金光ホール	406 人	593 m ²	岡山市北区津島中一丁目1-1
大会議室	60	96	
中会議室	36	76	
小会議室	24	46	

Junko Fukutake Hall

施設名	収容人数	面積	所在地
レクチャーホール	354人	561.89㎡	岡山市北区鹿田町二丁目5-1
会議スペース	30	53.5	



Junko Fukutake Hall

Junko Fukutake Terrace

施設名	席数	面積	所在地
Jテラスカフェ	40席	149.17㎡	岡山市北区津島中一丁目1-1



Junko Fukutake Terrace

西川アゴラ

平成26年8月に、西川緑道公園に面したオフィスビルの2階に開設。同年10月には岡山市との「まちづくり協定」を締結し、本施設を拠点に本学の研究・教育力を戦略的まちづくりに活用している。この付近は中心市街地のまちづくりの核として位置づけられ、市民参加型まちづくりの研究、回遊性調査、勉強会等が行われており、それらの成果を学生や行政、市民と共有する場としても用いられている。

【所在地】岡山市北区田町一丁目8-30 伊達ビル2階

【利用時間】平日 9:00~18:00

地域医療人育成センターおかやま（MUSCAT CUBE）

「学ぶ・集う・繋がる」というコンセプトのもと、岡山県下の医療系学生および医療者全体のレベル向上と地域医療への理解と関心を高めることを目的として、平成24年9月に鹿田キャンパス内に開所された。様々な地域医療の現場で求められている『総合診療』の知識と技術を持つ医師を育成するためのシミュレーション教育プログラムの開発・実践・研究を行うと同時に、広く一般向けのセミナーや講演会を実施し、地域医療教育ならびに情報発信の拠点としての役割を担っている。

岡山大学東京オフィス

JR山手線・京浜東北線田町駅東口から徒歩1分、都営地下鉄浅草線・三田線三田駅から徒歩5分の場所にあり、オフィスには教職員が駐在している。オフィスの役割は首都圏での学生の就職活動、卒業生のフォローアップ活動、同窓会活動、研究活動、産学官連携の支援と広報活動である。

【所在地】108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 東京工業大学田町キャンパス内
キャンパス・イノベーションセンター（CIC）6階 601号室

【利用時間】平日 9:30~18:15
（常駐職員の出張・外出などで利用できない場合あり）

福利施設

津島キャンパス内に3つの福利施設がある。

南福利施設（ビーチユニオン）は、1階にコンビニエンスショップ、トラベルサービスセンター、理容室、2・3階にカフェテリア食堂（2階227席・3階278席）、4階にレストラン（124席）がある。北福利施設（マスカットユニオン）は、1階にブックストア、2・3階にカフェテリア食堂（2階276席・3階264席）がある。東福利施設（ピオーネユニオン）は、1階にコンビニエンスショップ、2階にカフェテリア食堂（348席）がある。

岡山大学公開講座 社会に対してより高い教養を提供し、地域の文化の向上等に資することを目的として、公開講座を開催している。

区分	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
人 文 科 学	世界の言語から見た日本語と外国語 ー英語・中国語の場合	11月10日	高校生・大学生および一般の方	80人
	みんなの金融リテラシー入門	10月27日	一般の方（高校生以上）	50人
	19世紀プロイセン・ドイツ史入門 ー音楽と政治とナショナリズム	12月15日	一般の方（高校生以上）	30人
	行政不服審査制度のリニューアルと国民 の権利利益の保護	7月14日	高校生・大学生および一般の方	80人
	マーケティングと税とから見る経済社会	6月2日	高校生・大学生および一般の方	80人
	岡山後楽園と絵図	9月18日	高校生・大学生および一般の方	80人
自 然 科 学	どうしょうるん？容器包装ごみとリサイ クルー最近の話題ー	6月10日	高校生・大学生および一般の方	20人
	自然科学の最先端 ー自然災害から身を守るー	9月30日	中学生・高校生・大学生、 および一般の方	50人
	再生可能エネルギーの収穫とワイヤレス 給電	8月25日	中学生・高校生・大学生、 および一般の方	30人
	都市の防災を考える	8月25日～8月26日	一般の方（高校生以上）	80人
	森を活かし地域を元気にする ー革命的な木質材料CLT	7月14日	高校生・大学生および一般の方	50人
	素粒子を覗いてみよう	9月1日	中学生・高校生・ 大学生、および一般の方	20人
	IoT時代の情報セキュリティ技術と読解攻撃	9月29日	一般の方（高校生以上）	50人
	量子世界の探検（GSCO 講座 超伝導とそ の周辺）	12月（予定）	中学生・高校生	15人
生 命 科 学	血液型や腫瘍マーカーに関する「糖鎖」 の化学：糖鎖に結合するタンパク質を取っ てみよう！	8月25日	中学生・高校生・大学生、および一般の方	30人
	現代の薬学（第30回）	7月1日	薬剤師及び大学生、一般の方	50人
	生殖補助医療技術者のためのリカレント セミナー東京	9月～11月（予定）	生殖補助医療従事者（胚培養士、臨床検査 技師、医師、看護師、カウンセラー等）、生 命科学を専攻し生殖補助医療技術に興味が ある、大学生・大学院生等	30人※1
	生殖補助医療技術者のためのリカレント セミナー大阪	10月～12月（予定）	生殖補助医療従事者（胚培養士、臨床検査 技師、医師、看護師、カウンセラー等）、生 命科学を専攻し生殖補助医療技術に興味が ある、大学生・大学院生等	30人※1
	岡山健康講座2018ーやさしい保健と健康の話ー	8月23日～9月20日	一般の方	100人
	「入れ歯マイスター」養成講座	6月5日～10月2日	ご自身の入れ歯の知識を深めたい方、友人 や近所の方に入れ歯のアドバイスをしてあ げようと思われる方、保健・医療・福祉に 携わっていて入れ歯の知識を持ちたい方	30人
	市民フォーラム「お口の機能の有名研究 者が、やさしく解説 ーどうすれば健康 に食べて、肺炎にならない？ お口と体 の健康法ー」	6月7日	わかりやすい説明で、日々の生活に役立つ、 最先端の歯と健康の知識を得たい市民の皆様 ご自身の健康、ご家族の健康に役立つ情報を 希望される方 保健・医療・福祉に携わっていて歯と健康の 専門知識を得たい方	130人
	摂食・嚥下リハビリテーション従事者研 修会 初級コース	4月18日～7月18日	一般の方（岡山県民）	200人
	岡山大学摂食・嚥下障害研究会 ～食支 援ネットワーク～	5月10日～3月14日	一般の方（岡山県民）	100人
	高校生のための夏休みメディカルスクー ル2018	7月26日	高校生全学年 （応募者多数の場合、志望動機も参考とさ せていただきます）	21人
ジュニア向け	ジュニア体操教室（初級）	8月20日～8月28日	小学3年生から6年生	30人
	牛について知ろう ー牧場で学ぶ畜産ー	7月28日～7月29日	小中学生（※小学生のご参加の場合、保護 者の同伴をお願いいたします）	15人
木 工	木工教室（中級）	9月1日～9月29日	一般の方（高校生以上）	8人
園 芸	育てて食べよう美味しい夏野菜 ー家庭菜園のツボ2018ー	4月11日～9月5日	家庭菜園に興味のある一般の方	35人
スキルアップ	10代からはじめるキャリア・デザイン入門 ー著名人から学ぶ人生（逆境）の切り開き方ー	8月23日	中学生・高校生・大学生の方	20人
	第2回シミュレーションスタッフ研修会	6月23日	各施設に於いて、シミュレーションセン ター運営に携わっている方又はその予定の 方、シミュレーション教育をサポートする 方（先着順とさせていただきます）	36人

区分	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
スキルアップ	第3回シミュレーションスタッフ研修会	12月15日 ※変更の可能性あり	各施設に於いて、シミュレーションセンター運営に携わっている方又はその予定の方、シミュレーション教育をサポートする方（先着順とさせていただきます）	36人
	医療・教育現場の指導に必要なベシックススキルコース	6月7日～12月22日	医療・教育現場において指導をされている方又はその予定の方、興味関心のある方	制限なし
	インターネットの安全利用技術	8月24日	一般の方（高校生以上）	100人
スポーツ	スポーツ講座	6月20日～1月23日	高校生・大学生および一般の方	100人

※1 出席での参加形態のみ定員あり、Eラーニングは無制限

岡大サイエンスカフェ 本学の研究者が学術研究成果を分かりやすく説明する場として開設している。

	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
第66回	「これからの時代を生き抜く子どもに育みたい力とは」	4月16日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	120人
第67回	「お母さんががんになった時 ― 幼い子どもをもつ女性がん患者とご家族への支援 ―」	6月18日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	120人
第69回	「新しい光『テラヘルツ波』で見えてくる明るい未来 ― テラヘルツ波計測システムの開発と応用 ―」	10月26日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	120人
第71回	「生物たちの回復呪文の唱え方（四肢再生の話）― ホイミを探せ! in ウーパールーパー ―」	2月1日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	120人

※ 第68回、第70回サイエンスカフェは、「SDGs サイエンスカフェ」として別途開催します。

地域連携事業 地域の教育機関等と連携して講座を開設している。

講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
教育連携協議会教育連携事業 高校生が岡大キャンパスで大学生と共に受ける授業の聴講	4月～8月、10月～2月	高校生	各科目の定員数
教育連携協議会教育連携事業 高校生のための大学講座	8月8日	高校生	各科目の定員数
大学コンソーシアム岡山「吉備創生カレッジ」	4月～9月、10月～3月	一般の方	各科目の定員数

関連組織

国立六大学連携コンソーシアム連携機能強化推進本部

六大学（千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学）では、各大学の特色を生かした連携を通じて教育・学術研究を機能強化するため、国立六大学連携コンソーシアムを組織し教育プログラムの共同構築などを推進している。

岡山大学出版会

本学教員の教育・研究成果の発表を支援し、もって学術・教育・文化の振興発展に寄与することを目的として平成19年4月に設立された。学術書のみならず、岡山大学版教科書も出版している。これにより、教育・研究成果をこれまで以上に広く発信することが可能になった。

岡山大学 Alumni（全学同窓会）

岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、従来の同窓生を中心とした同窓会とは異なり、岡山大学の知的な営みに関わったすべての方々、すなわち、同窓生のみならず、在学生や教職員、教職員OB、留学生、研究生等、岡山大学に関わったすべての方々を会員として、“オール岡大”で岡山大学の発展を支援するとともに、会員の皆様の発展を目指すネットワーク組織として平成25年10月に設立された。

アクセス



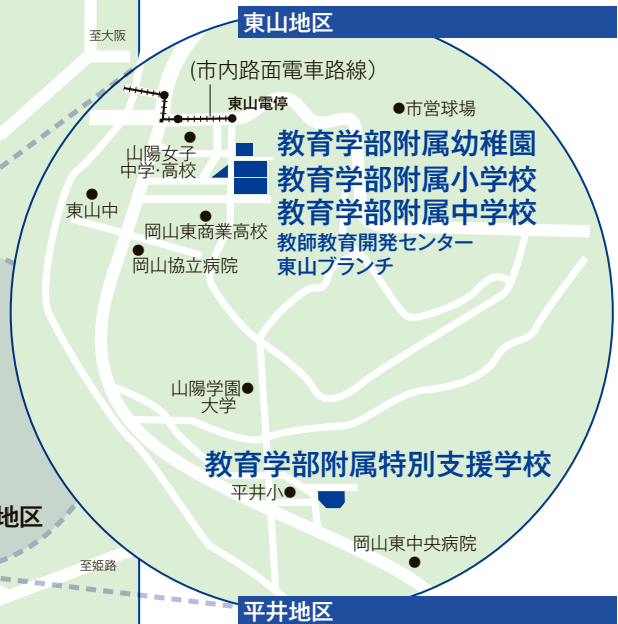
広域図



津島地区 / 鹿田地区

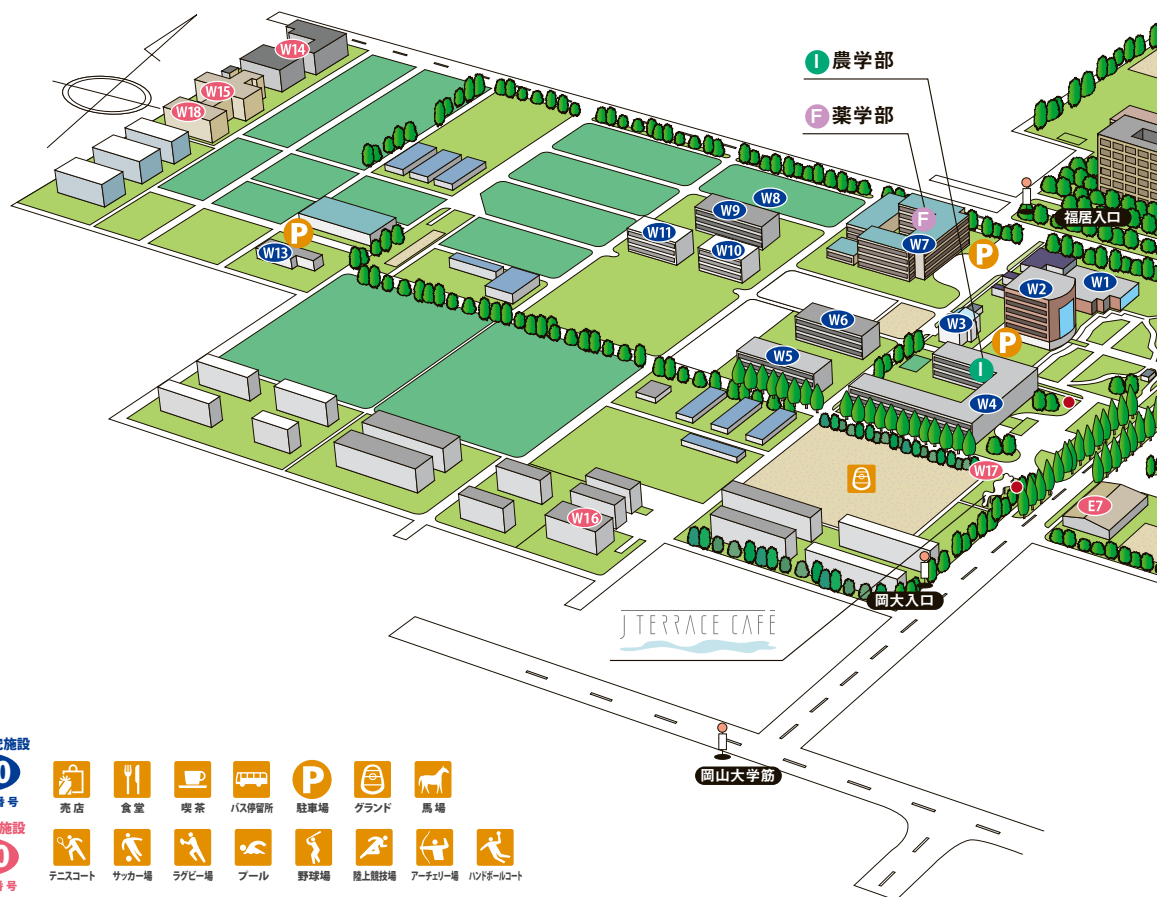


東山地区



津島キャンパス

A文学部 **B**教育学部 **C**法学部 **D**経済学部 **E**理学部
F薬学部 **G**工学部 **H**環境理工学部 **I**農学部



津島地区北キャンパス

N1	文化科学系総合研究棟 法務研究科 弁護士研修センター
N2	文法経2号館 法学部 経済学部
N3	文法経1号館 文学部 社会文化科学研究科 東アジア国際協力・教育研究センター
N4	文法経講義棟
N5	文学部考古学資料室
N10	中央図書館
N11	北福祉施設(マスカットユニオン)
N12	情報統括センター
N13	埋蔵文化財調査研究センター
N14	国際交流会館
N15	福居留学生宿舍
N20	理学部本館 理学部 マッチングプログラムコース 自然科学研究科 異分野基礎科学研究所

N21	理学部2号館 界面科学研究施設 コラボレーション・センター
N22	自然生命科学研究支援センター 分析計測・極低温部門
N23	自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門津島施設
N24	自然科学研究科棟 自然科学研究科 ヘルスシステム統合科学研究科
N30~N43 N45~N49	工学部1号館~14号館・16号館~20号館 工学部 自然科学研究科
N44	旧工学部15号館 地域総合研究センター 工学部講義室
N50	旧工学部21号館 タイバーシティ推進本部 自然生命科学研究支援センター 動物資源部門津島北施設
N51	環境管理センター
N52	自然科学系総合研究棟 低炭素・廃棄物循環研究センター

N53	環境理工学部棟 環境理工学部 環境生命科学研究科
N54	新技術研究センター
N55	東福祉施設(ビオーネユニオン)
N61	教育学部本館 教育学部 教育学研究科 教師教育開発センター
N62	教育学部講義棟
N63	教育学部東棟
N64	教育学部体育棟
N65・N66	教育学部音楽棟
N67	弓道場
N68	馬房



津島地区西キャンパス

W1	創立五十周年記念館 本部棟
W2	法人監査室、監事支援室 大学本部 評価センター 安全衛生推進機構
W3	旧事務局庁舎 研究推進産学官連携機構
W4~W6	農学部Ⅰ号館~Ⅲ号館 農学部 環境生命科学研究科 生殖補助医療技術教育研究センター

W7	薬学部1号館・2号館 薬学部 医歯薬学総合研究科
W8	薬用植物園
W9	岡山大インキュベータ (中小企業基盤整備機構)
W10	自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門
W11	自然生命科学研究支援センター 動物資源部門津島南施設
W13	農学部Ⅳ号館 山陽圏フィールド科学センター

W14	桑の木留学生宿舍
W15	女子学生寮
W16	津島宿泊所
W17	Junko Fukutake Terrace
W18	国際学生シェアハウス

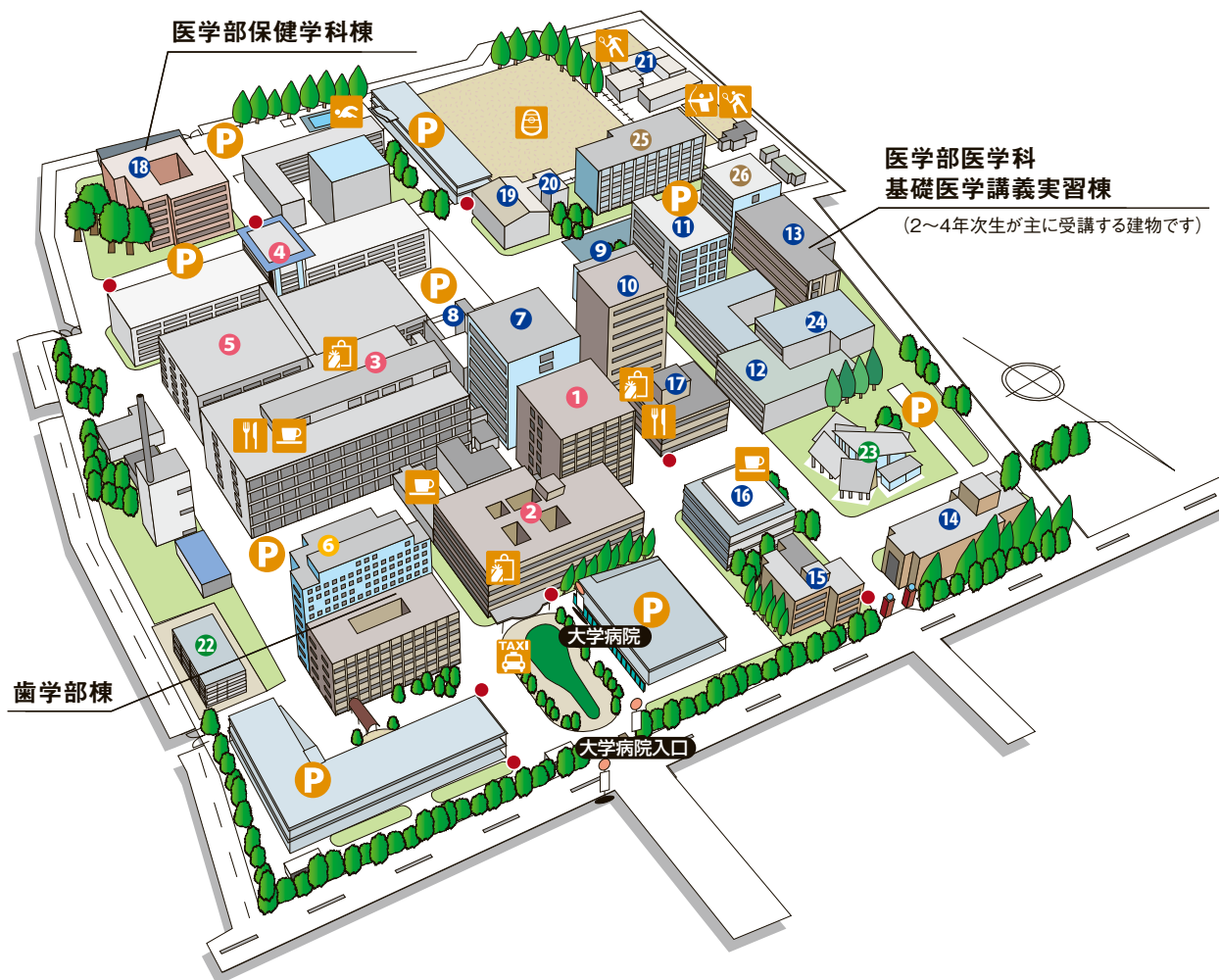
津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設(ピーチユニオン) 学生会館
E2	全学教育・学生支援機構 学生総合支援センターキャリア・学生支援室 アドミッションセンター
E3	保健管理センター 一般教育棟
E4	全学教育・学生支援機構 高等教育開発推進センター 基幹教育センター

E4	学生総合支援センター学生相談室 学務部 グローバル・パートナーズ グローバル人材育成院
E5	一般教育棟 全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター障がい学生支援室 学生総合支援センタースポーツ支援室 グローバル・ディスカバリー・プログラム

E6	清水記念体育館
E7	第二体育館
E8	第一武道館
E9	第二武道館
E10	体育管理施設
E11	校友会文化系クラブ棟
E12	校友会体育系クラブ棟
E13	校友会トレーニング棟
E14	合宿所

鹿田キャンパス



鹿田地区

1	管理棟
2	外来診療棟（医科）
3	中央診療棟
4	入院棟
5	総合診療棟
6	歯学部棟・外来診療棟（医科・歯科）
7	臨床研究棟
8	臨床講義棟及び病理部
9	旧RI研究センター
10	総合教育研究棟
11	基礎研究棟
12	基礎医学棟
13	基礎医学講義実習棟
14	鹿田会館・講堂（旧生化学棟）
15	医学資料棟（旧栄養学棟）

16	附属図書館鹿田分館
17	記念会館
18	保健学科棟
19	体育館
20	武道場
21	校友会クラブ棟
22	地域医療人育成センターおかやま（MUSCAT CUBE）
23	Junko Fukutake Hall
24	医歯薬融合型教育研究棟
25	自然生命科学研究支援センター 動物資源部門鹿田施設
26	自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門鹿田施設 中性子医療研究センター

東山地区



教育学部附属幼稚園
教育学部附属小学校
教育学部附属中学校
教師教育開発センター東山ブランチ

平井地区



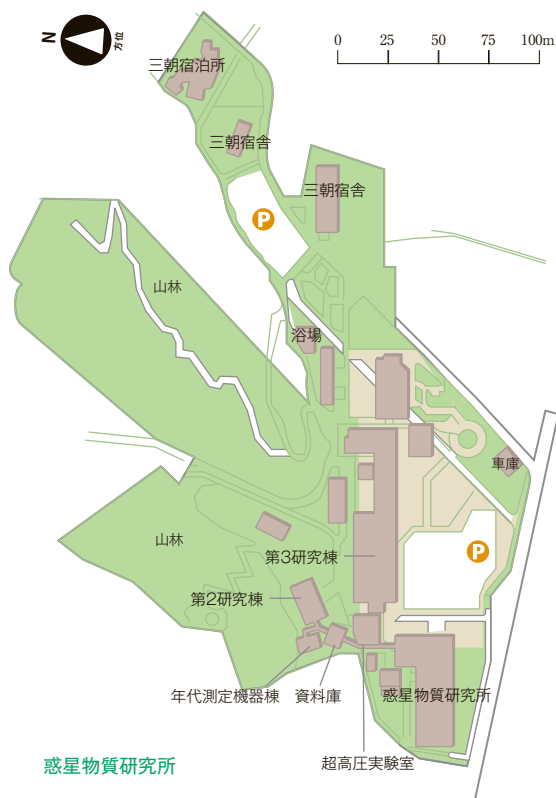
教育学部附属特別支援学校

倉敷地区



資源植物科学研究所
同附属大麦・野生植物資源研究センター
附属図書館資源植物科学研究所分館

三朝地区



惑星物質研究所

岡山大学学歌

♩ = 112 おおらかにかがやかしく
久坂 基 作詞
松本民之助 作曲

やまのみなみに ひかりあふれて つど
いよーるひと みあかーる し あ お ぎ ゐ ゐ
はるけきかなた おお いなり も ゆるのぞみはと
おくとも そをまなびでもと めん

一、山の南に光りあふれて
つどいよるひとみあかるし
仰ぎみるはるけきかなた
大いなりもゆる望みは
遠くともそを
学びてもとめん

二、内海のほとり 風はさやかに
つどいよるいふきは深し
胸をはりまゆをあぐれば
いやたかしむねの誇りは
ふかくひめそを
学びてもらん

三、まがねふく国名はふるくとも
つどいよる心あたらし
古のふみをつたえて
うちたてんとこしへの道
さわみなくそを
学びてたてん

学歌について

昭和34年、創立10周年を記念して学歌を制定することになり、歌詞を募集したが、応募作品中該当作品がなかったため、教育学部久坂教授に依頼し、歌詞を制定した。

その後歌詞が決定したので、作曲を募集したが、作曲も入選作品がなかったため、東京芸術大学名誉教授松本民之助氏に作曲を依頼して、現在の学歌ができあがった。

岡山大学学生歌

（昭和28年度）
三沢 信弘 作詞
宮原 植次 作曲

元気に南も味深く
われらはあつまりはんだやまのやますそに
こからしがすさぶなをわれらのまなびやを
まもろう おお おお おか
だ い わ れ ら の も の

一、われらはあつまり
はんだ山の山すそに
こがらしがすさぶ中を
われらの学舎を守ろう
おお岡大われらのもの

二、われらはあつまり
ひろい校庭の一面に
もえたつ若木のように
われらの未来を語ろう
おお岡大われらのもの

三、われらはあつまり
われらのうたをうたおう
自由と平和のために
まなびゆくわれらのうたを
おお岡大われらのもの

学生歌について

昭和28年度校友会（現：校友会）委員から学生歌を作成したいとの意向があり、「みんなで歌える歌、創設期を脱してさらに発展をめざすとき、躍進岡大を象徴するもの」という主旨のもと、一般学生から歌詞を募集した。

選考委員会で語った結果、三沢信弘作詞のものに決定し、作曲は宮原植次NHK嘱託に依頼し現在の学生歌になった。

その後昭和30年度、昭和32年度にも募集して二曲の学生歌が作られている。



OKAYAMA
UNIVERSITY

平成11年5月、マークデザイナー・宮崎利一氏、アートディレクター・橋ヶ谷佳正教育学部教授による作品
このマークは、Okayamaの「O」とUniversityの「U」から形作られ、鳥のごとく未来に向かって羽ばたき、光輝く岡山大学の姿を表現している。

Okayamaの「O」Universityの「U」をデザインのモチーフにしている。全体のフォルムは常に世界に向かって開かれる「知の扉」を表現しており、岡山から「知のコミュニケーション」が始まってゆく様子をイメージしている。平成24年4月に、コミュニケーションシンボルとして制定された。



学 章

岡山大学

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学総務・企画部 広報・情報戦略室

Tel. 086-252-1111 Fax. 086-251-7294

E-mail www-adm@adm.okayama-u.ac.jp

編 集：岡山大学総務・企画部 広報・情報戦略室

<http://www.okayama-u.ac.jp/>

